

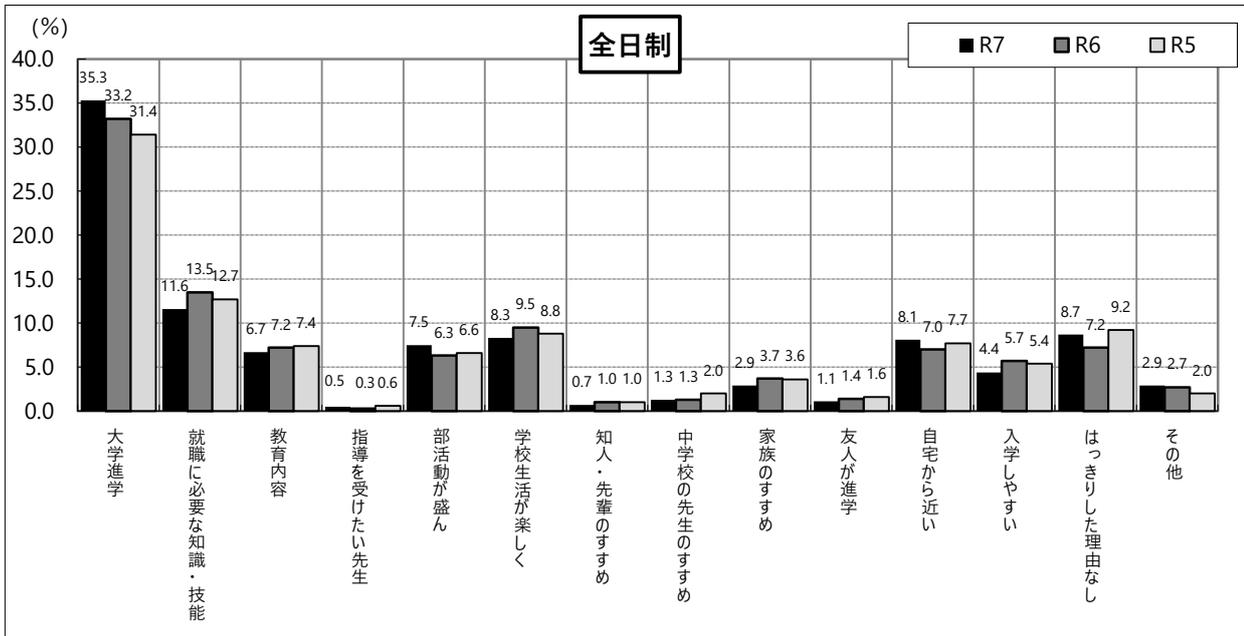
令和7年度 高校教育に関するアンケート（高校2年生）集計結果

※「理数学科」は普通学科の集計に含まれる

1 高校を選んだ主な理由

(%)

課程・学科種別	大学に進学するため	就職に必要な知識や技能を身につけるため	教育内容が自分の学びたい内容だから	指導を受けたい先生がいたから	部活動が盛んだから	学校生活が楽しく送れそうだから	知人・先輩のすすめられたから	中学校の先生にすすめられたから	家族にすすめられたから	友人が進学する学校だから	自宅から近かったから（地元だから）	入学しやすかったから	はっきりした理由はなし	その他	有効回答数
R7年度 全日制	35.3	11.6	6.7	0.5	7.5	8.3	0.7	1.3	2.9	1.1	8.1	4.4	8.7	2.9	2,570
（普通学科）	52.9	2.1	1.8	0.5	9.1	8.7	0.5	0.6	2.5	0.7	8.3	2.8	7.6	1.9	1,653
（専門学科）	3.8	32.1	16.0	0.8	4.7	6.4	1.3	1.4	3.0	2.0	6.8	7.5	10.1	4.1	762
（総合学科）	6.5	11.6	12.3	0.0	3.2	12.9	0.6	8.4	5.8	0.6	11.0	5.8	14.2	7.1	155
定時制	9.3	2.8	1.9	0.0	0.9	9.3	0.9	14.7	10.2	2.8	0.9	23.1	9.3	13.9	108



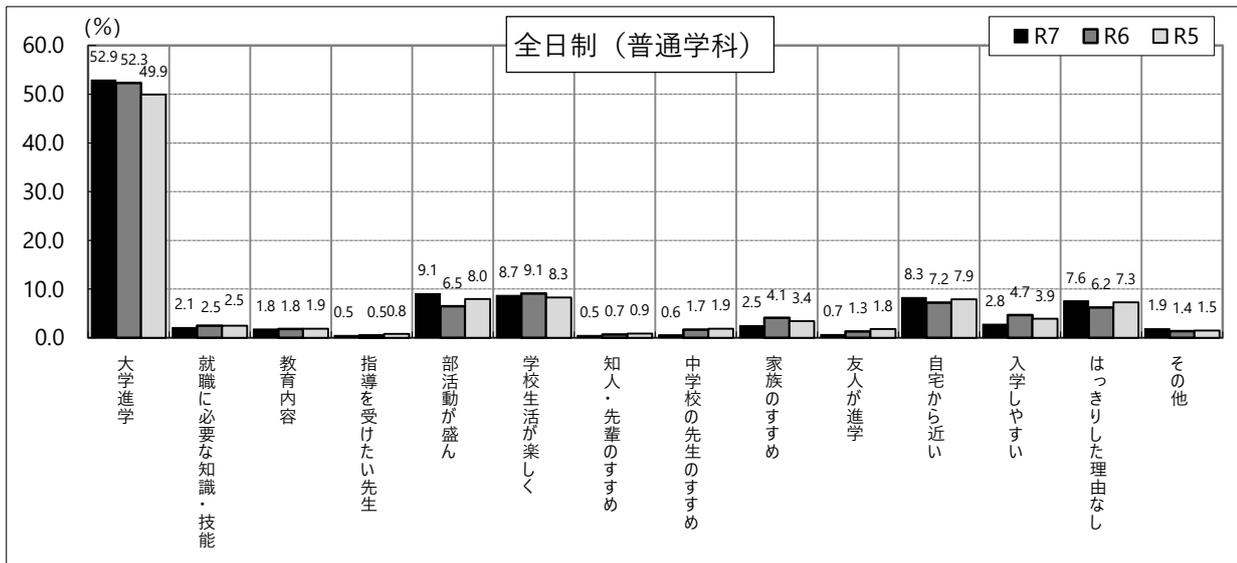
【全日制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	大学進学(35.3)	就職に必要な知識・技能(11.6)	はっきりした理由なし(8.7)
令和6年度	大学進学(33.2)	就職に必要な知識・技能(13.5)	学校生活が楽しく(9.5)
令和5年度	大学進学(31.4)	就職に必要な知識・技能(12.7)	はっきりした理由なし(9.2)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】大学進学 (+2.1) 【減少】就職に必要な知識・技能 (-1.9)



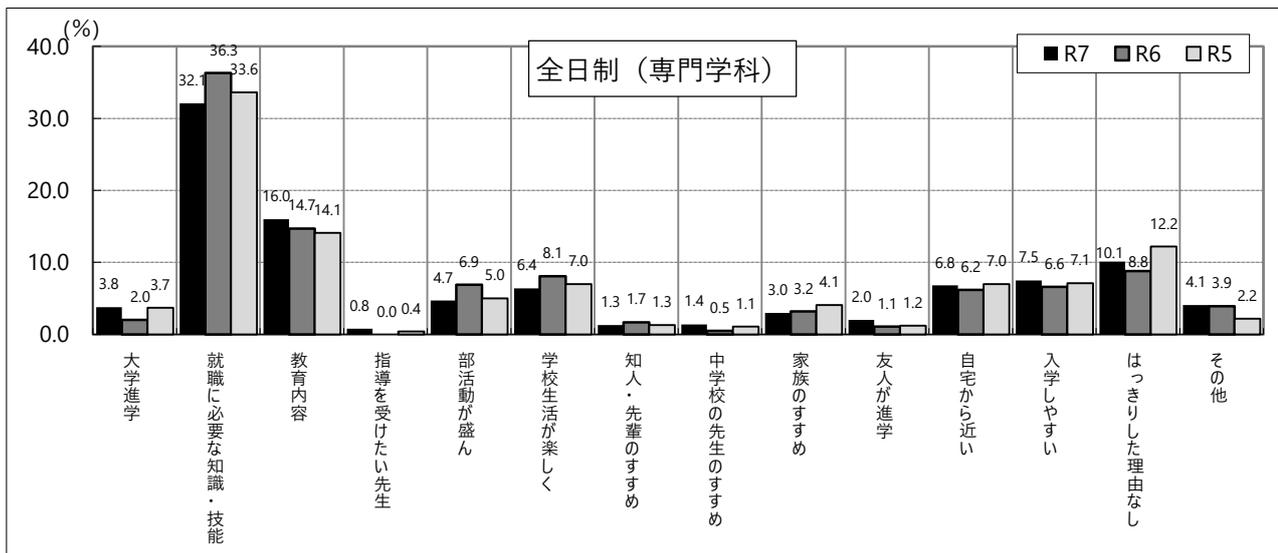
【全日制（普通学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	大学進学(52.9)	部活動が盛ん(9.1)	学校生活が楽しく(8.7)
令和6年度	大学進学(52.3)	学校生活が楽しく(9.1)	自宅から近い(7.2)
令和5年度	大学進学(49.9)	学校生活が楽しく(8.3)	部活動が盛ん(8.0)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】部活動が盛ん (+2.6) 【減少】入学しやすい (-1.9)



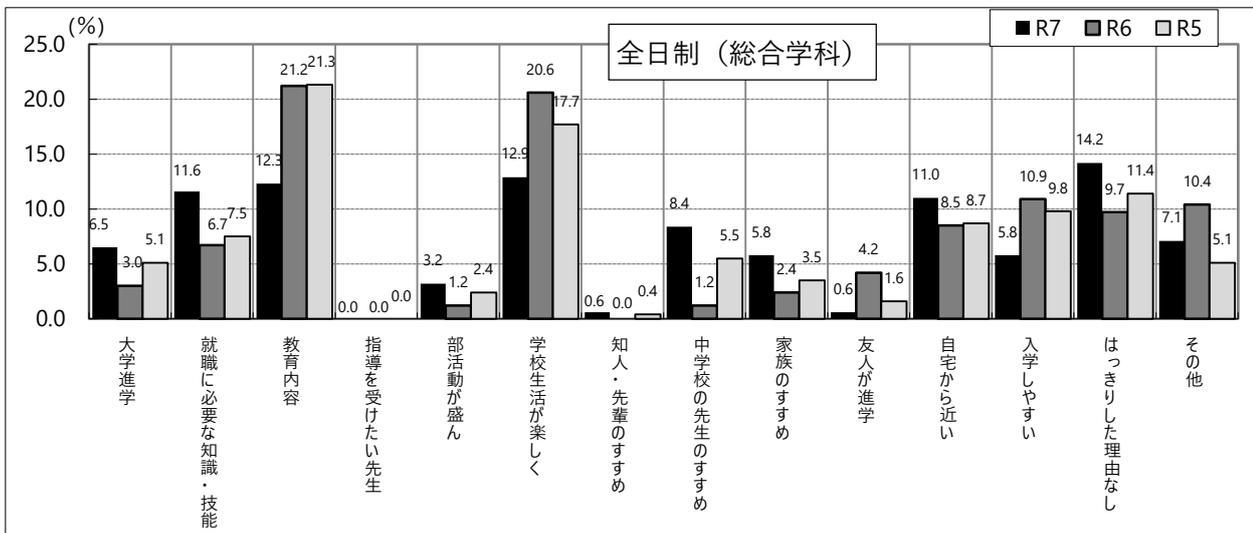
【全日制（専門学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	就職に必要な知識・技能(32.1)	教育内容(16.0)	はっきりした理由なし(10.1)
令和6年度	就職に必要な知識・技能(36.3)	教育内容(14.7)	はっきりした理由なし(8.8)
令和5年度	就職に必要な知識・技能(33.6)	教育内容(14.1)	はっきりした理由なし(12.2)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】大学進学 (+1.8) 【減少】就職に必要な知識・技能 (-4.2)



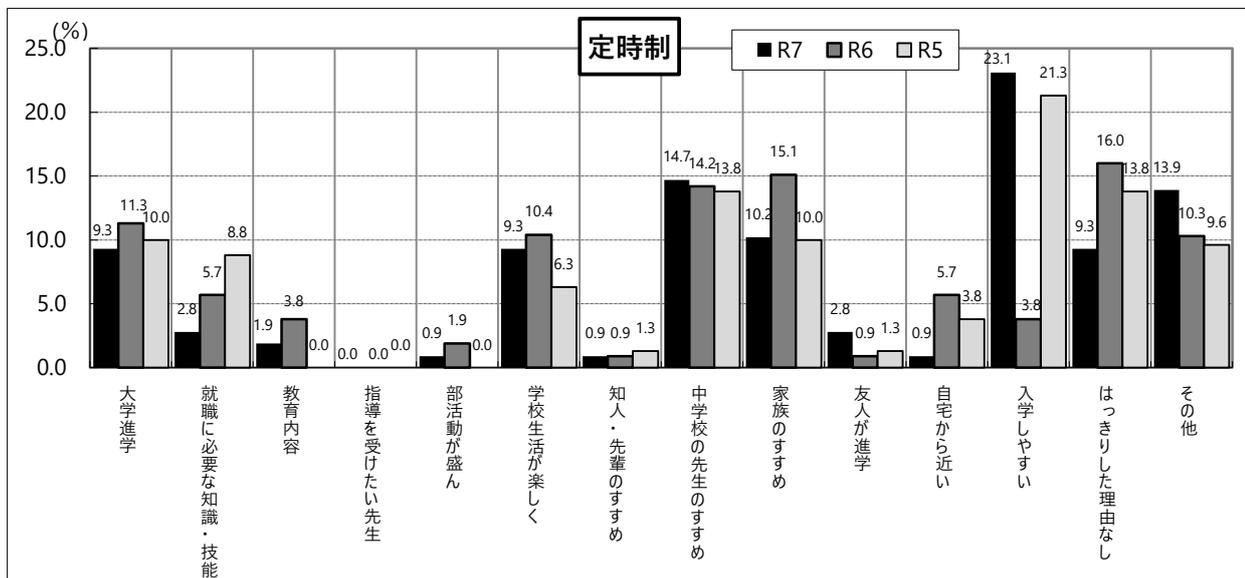
【全日制（総合学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	はっきりした理由なし(14.2)	学校生活が楽しく(12.9)	教育内容(12.3)
令和6年度	教育内容(21.2)	学校生活が楽しく(20.6)	入学しやすい(10.9)
令和5年度	教育内容(21.3)	学校生活が楽しく(17.7)	はっきりした理由なし(11.4)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】中学校先生のすすめ（+7.2） 【減少】教育内容（-8.9）



【定時制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	入学しやすい(23.1)	中学校の先生のすすめ(14.7)	その他(13.9)
令和6年度	はっきりした理由なし(16.0)	家族のすすめ(15.1)	中学校の先生のすすめ(14.2)
令和5年度	入学しやすい(21.3)	中学校の先生のすすめ(13.8)	はっきりした理由なし(13.8)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】入学しやすい（+19.3） 【減少】はっきりした理由なし（-6.7）

○普通学科において、H28以降の10年は、「大学進学」を理由とする回答の割合が常に最も高く、また増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で、11.8ポイント増）。

○専門学科において、H28以降の10年は、「就職に必要な知識・技能」を理由とする回答の割合が常に最も高く、R7も同じ状況が継続している。

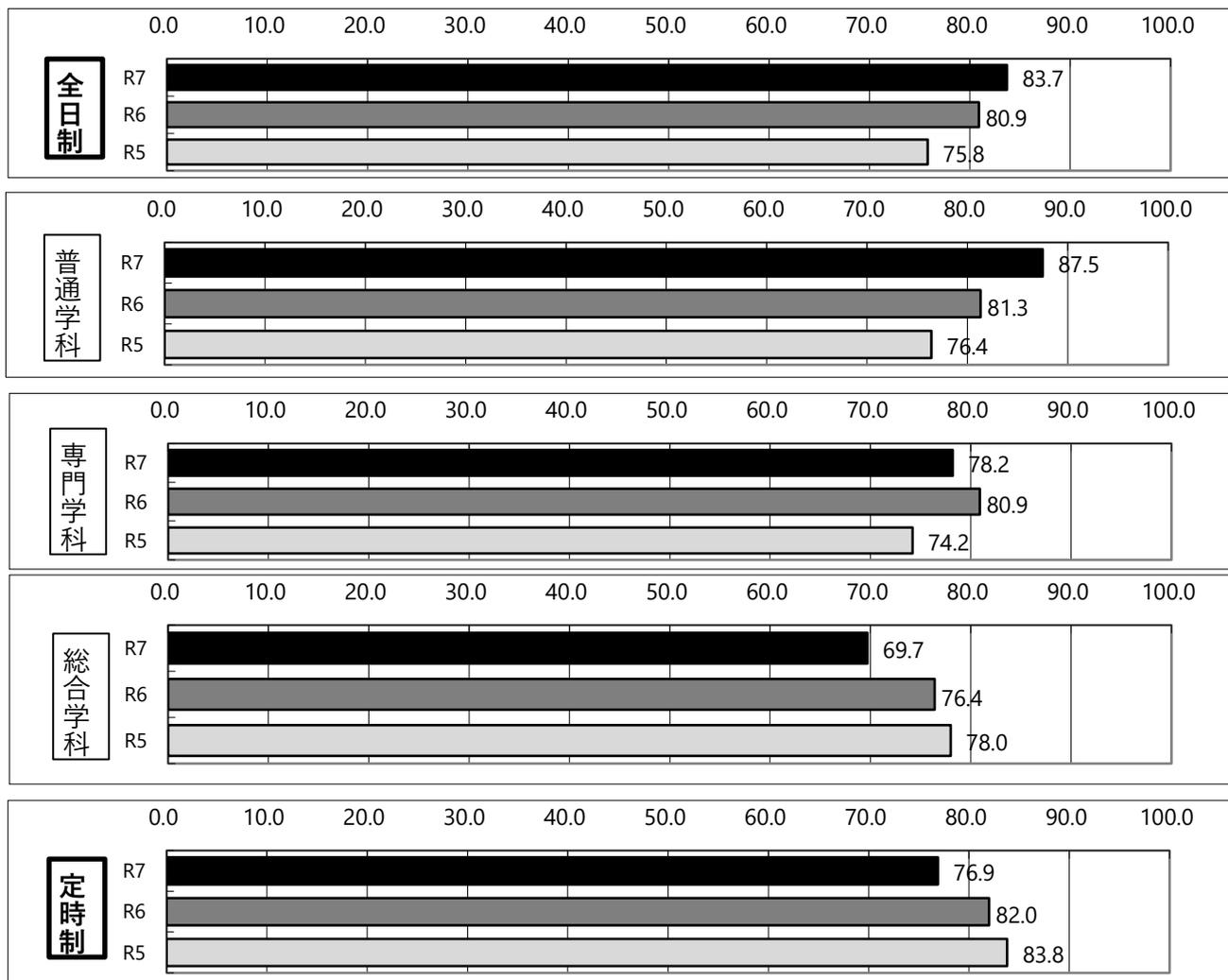
○総合学科において、この2年、割合が高かった「教育内容」と「学校生活が楽しく」を理由とする回答の割合がR7は減少している。

2 高校や高校生活に関する意識

(1) この高校に入学して満足している

課程・学科種別 (%)		5 そう思う	4	3	2	1 そう思わない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	42.7	41.0	11.0	3.9	1.4	2,570	4.20
	(普通学科)	47.6	39.9	8.5	2.9	1.1	1,653	4.30
	(専門学科)	34.9	43.3	14.8	5.4	1.6	762	4.05
	(総合学科)	27.7	42.0	18.1	7.7	4.5	155	3.81
	定時制	47.3	29.6	18.5	3.7	0.9	108	4.19

<肯定的回答(5・4)割合(%)>



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で14.6ポイント増）。

○専門学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は減少している（H28との比較で10.8ポイント増）。

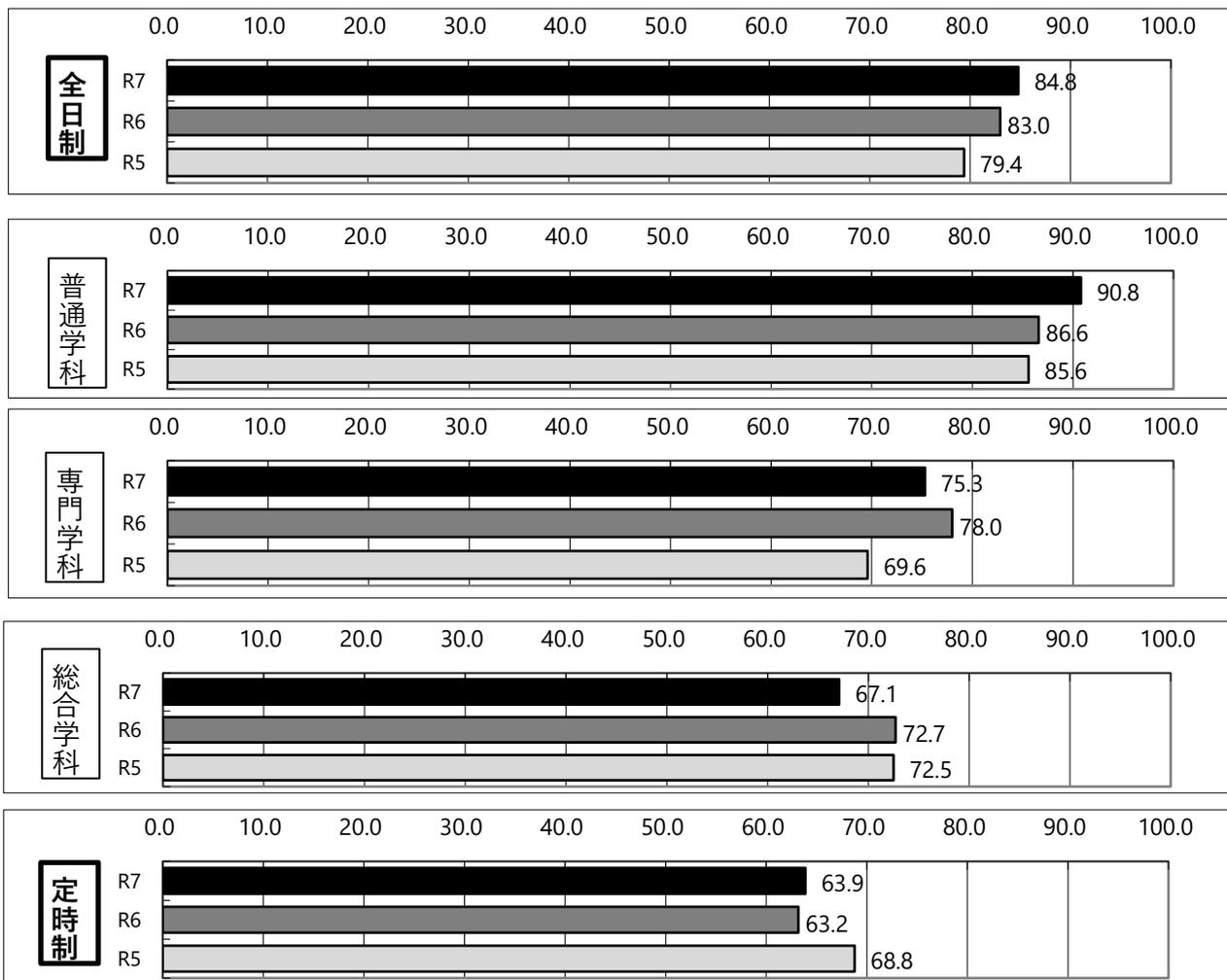
○総合学科において、H28以降の10年は、R5までは肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、この2年減少している。

2 高校や高校生活に関する意識

(2) 学校行事や部活動などが盛んで、学校に活気がある

課程・学科種別 (%)		5 そう思う	4	3	2	1 そう思わない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	46.4	38.4	9.9	3.8	1.5	2,570	4.24
	(普通学科)	54.7	36.1	6.3	2.1	0.8	1,653	4.42
	(専門学科)	31.9	43.4	15.4	7.1	2.2	762	3.96
	(総合学科)	28.4	38.7	21.9	6.5	4.5	155	3.80
	定時制	31.5	32.4	24.1	8.3	3.7	108	3.80

<肯定的回答(5・4)割合(%)>



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で14.2ポイント増）。

○専門学科と総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は減少している（H28との比較で、専門学科23.8ポイント増、総合学科22.3ポイント増）。

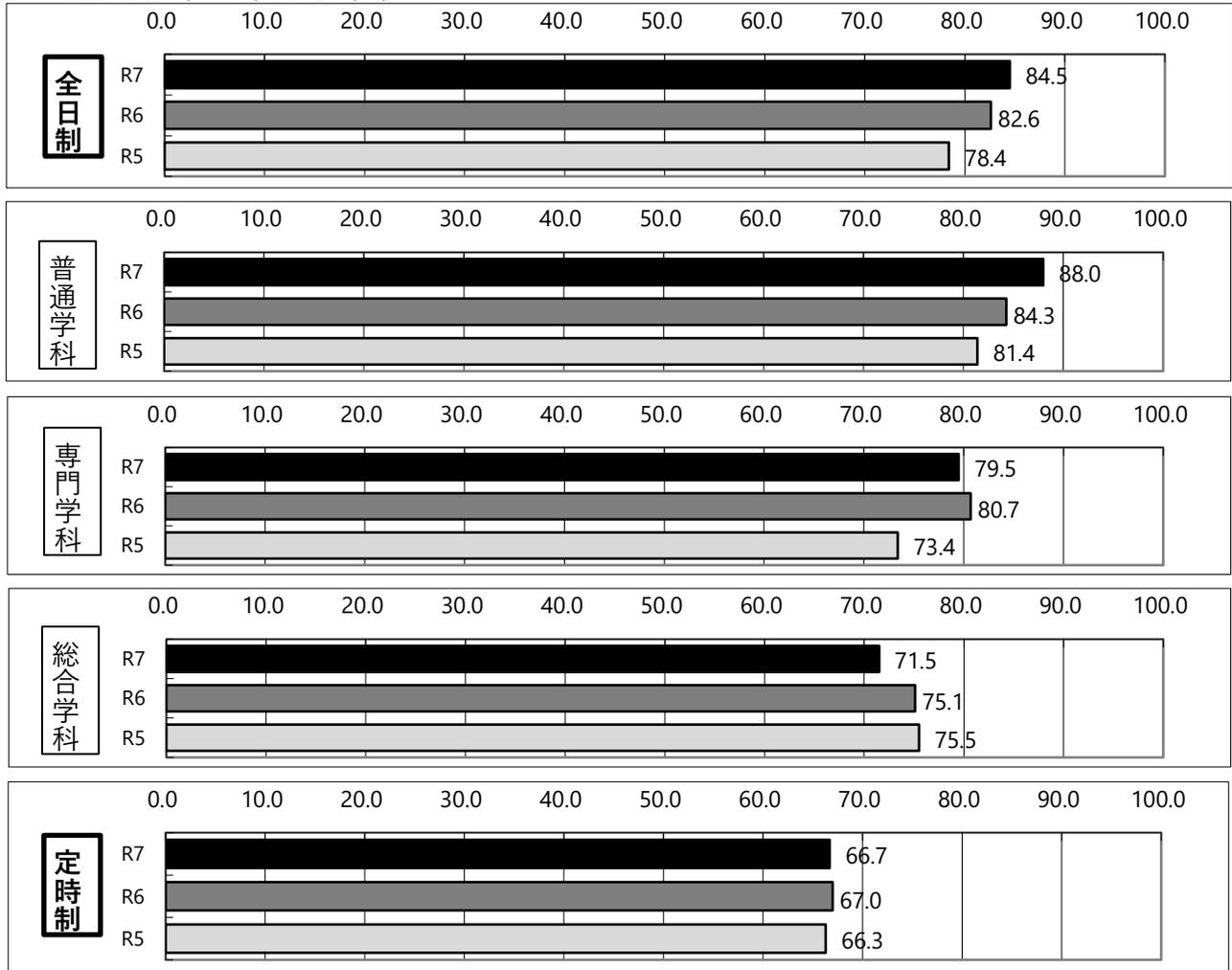
○全日制において、肯定的な回答の割合は、H28以降の10年は、専門学科、総合学科と比較して、普通学科が常に高い。この2年、肯定的な回答の割合は、普通学科のみ連続して増加しているが、この10年で見ると、普通学科と比較して、専門学科と総合学科の増加が大きく、その差は小さくなってきている。

2 高校や高校生活に関する意識

(3) 自分の進路希望を実現する上で、学校での学習は役に立っている

課程・学科種別 (%)		5 そう思う	4	3	2	1 そう思わない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	43.4	41.1	11.9	2.9	0.7	2,570	4.24
	(普通学科)	49.2	38.8	9.3	2.4	0.3	1,653	4.34
	(専門学科)	34.9	44.6	15.9	3.3	1.3	762	4.09
	(総合学科)	23.9	47.6	19.4	6.5	2.6	155	3.84
	定時制	31.5	35.2	27.8	4.6	0.9	108	3.92

<肯定的回答(5・4)割合(%)>



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で14.2ポイント増）。

○専門学科と総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は減少している（H28との比較で、専門学科20.5ポイント増、総合学科19.1ポイント増）。

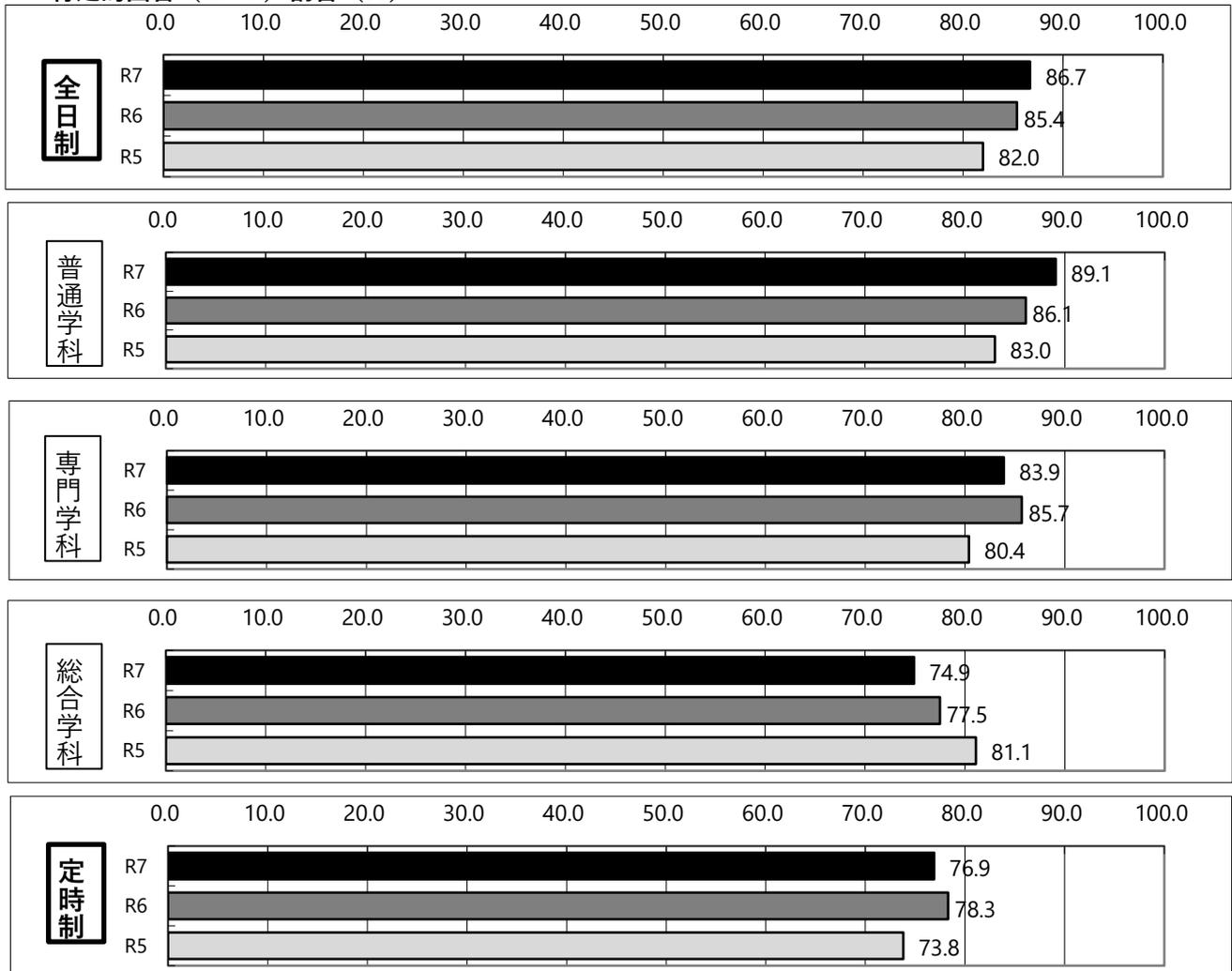
○全日制において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が高い学科から、普通学科、専門学科、総合学科となる傾向にある。この2年、肯定的な回答の割合は、普通学科のみ連続して増加しているが、この10年で見ると、普通学科と比較して、専門学科と総合学科の増加が大きく、その差は小さくなってきている。

2 高校や高校生活に関する意識

(4) 高校生活をとおして、自分が人間的に成長している

課程・学科種別 (%)		5 そう思う	4	3	2	1 そう思わない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	46.1	40.6	10.2	2.3	0.8	2,570	4.29
	(普通学科)	52.0	37.1	8.2	2.0	0.7	1,653	4.38
	(専門学科)	36.2	47.7	12.5	2.8	0.8	762	4.16
	(総合学科)	32.3	42.6	20.0	3.2	1.9	155	4.00
	定時制	41.7	35.2	19.4	2.8	0.9	108	4.14

< 肯定的回答 (5・4) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で17.6ポイント増）。

○専門学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は減少している（H28との比較で23.5ポイント増）。

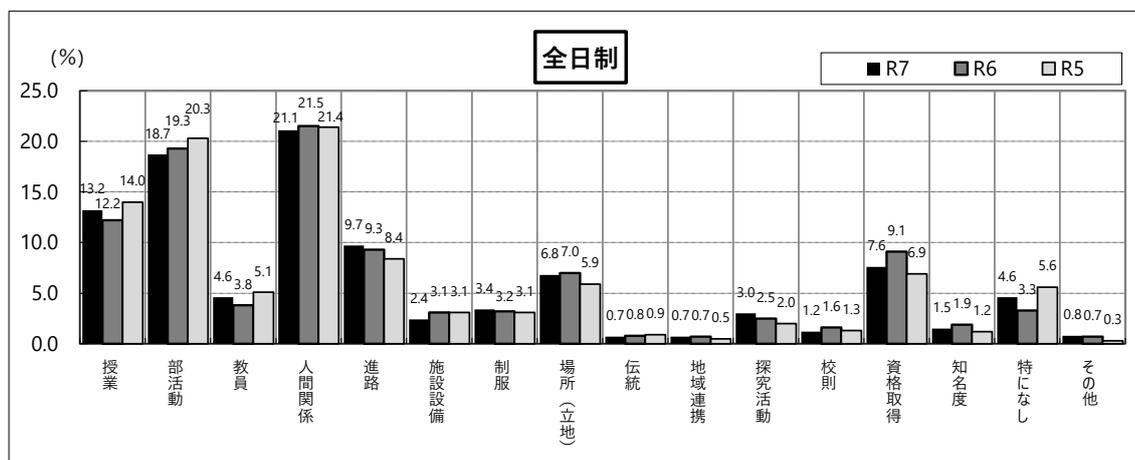
○総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、この2年は減少している（H28との比較で15.9ポイント増）。

○定時制においては、H28以降の10年は、R1以降、肯定的な回答の割合が増加傾向である（R1との比較で、33.8ポイント増）。

3 この高校に入学して良かったと思うことを選んでください（複数回答3つまで）

(%)

課程・学科種別		授業	部活動	教員	人間関係	進路	施設設備	制服	場所（立地）	伝統	地域連携	探究活動	校則	資格取得	知名度	特になし	その他
R7年度	全日制	13.2	18.7	4.6	21.1	9.7	2.4	3.4	6.8	0.7	0.7	3.0	1.2	7.6	1.5	4.6	0.8
	（普通学科）	13.7	21.9	4.8	23.4	9.8	2.2	2.2	7.5	0.8	0.7	4.2	1.5	0.3	2.2	3.8	1.0
	（専門学科）	12.1	13.0	4.0	15.9	9.7	3.4	5.3	5.9	0.5	0.5	0.2	0.5	23.7	0.2	4.9	0.2
	（総合学科）	12.9	11.0	5.8	19.7	9.1	0.6	8.1	3.6	1.0	2.3	3.6	0.3	7.8	0.0	12.9	1.3
	定時制	14.9	8.9	9.4	20.4	6.0	0.0	3.8	3.8	1.7	1.3	0.9	18.7	0.9	0.4	6.8	2.1



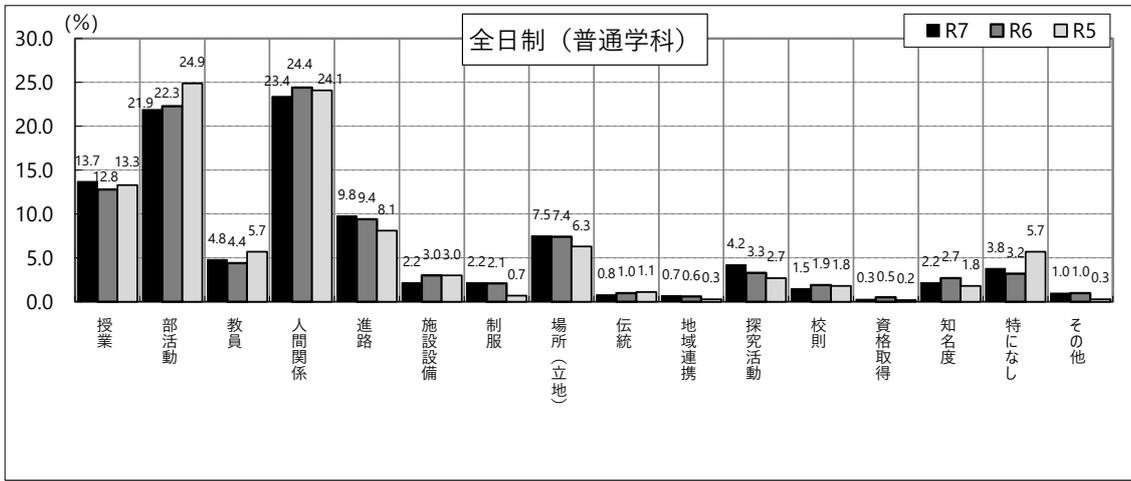
【全日制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	人間関係(21.1)	部活動(18.7)	授業(13.2)
令和6年度	人間関係(21.5)	部活動(19.3)	授業(12.2)
令和5年度	人間関係(21.4)	部活動(20.3)	授業(14.0)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】特になし (+1.3) 【減少】資格取得 (-1.5)



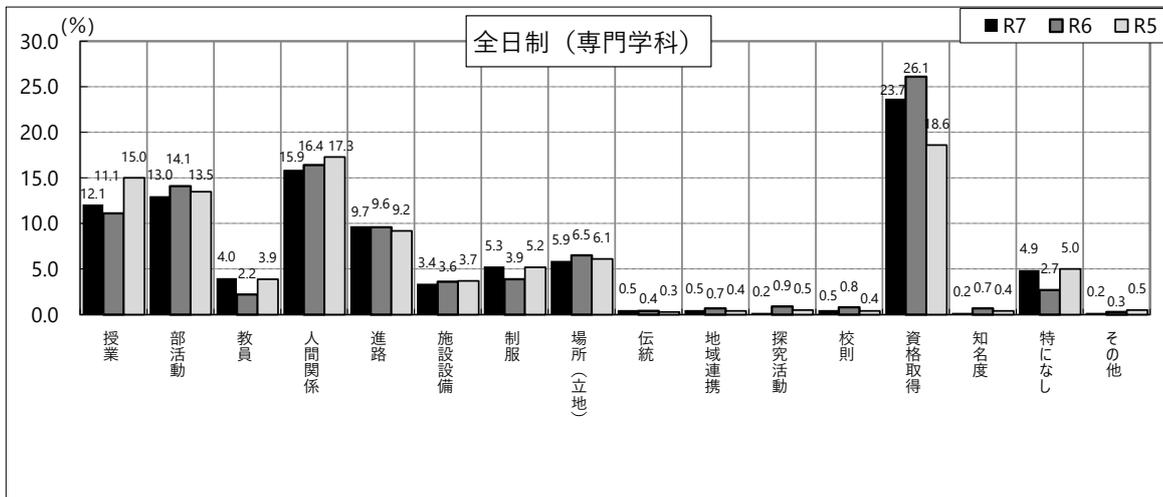
【全日制（普通学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	人間関係(23.4)	部活動(21.9)	授業(13.7)
令和6年度	人間関係(24.4)	部活動(22.3)	授業(12.8)
令和5年度	部活動(24.9)	人間関係(24.1)	授業(13.3)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】探究活動（+0.9） 【減少】人間関係（-1.0）



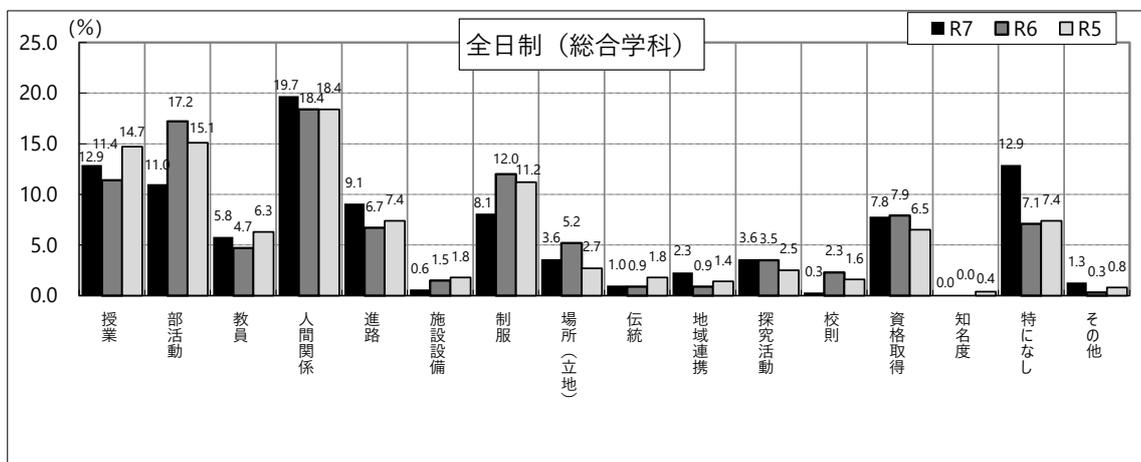
【全日制（専門学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	資格取得(23.7)	人間関係 (15.9)	部活動(13.0)
令和6年度	資格取得(26.1)	人間関係 (16.4)	部活動(14.1)
令和5年度	資格取得(18.6)	人間関係 (17.3)	授業(15.0)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】特になし（+2.2） 【減少】資格取得（-2.4）



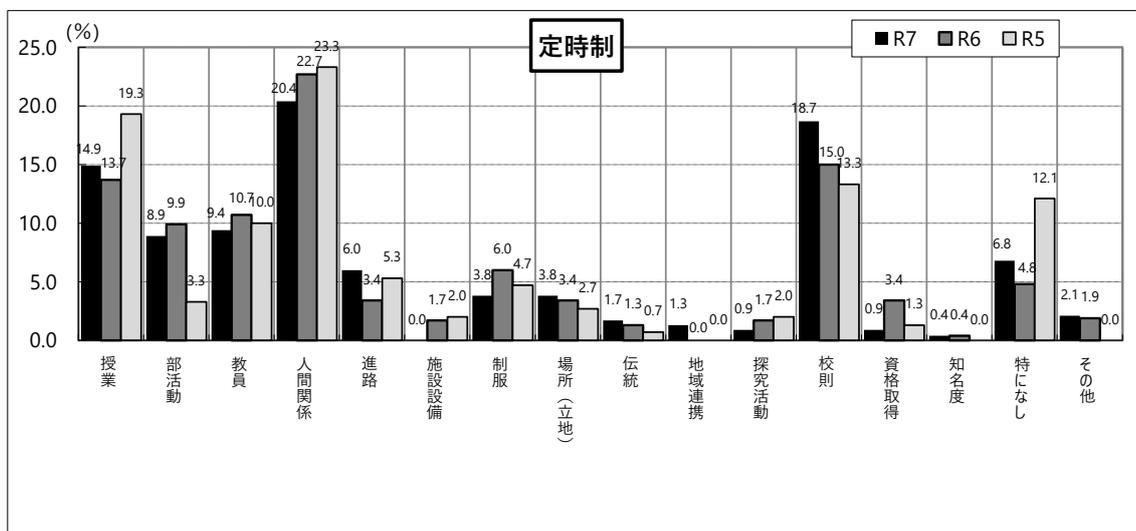
【全日制 (総合学科)】

< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	人間関係 (19.7)	授業 (12.9)	特になし (12.9)
令和6年度	人間関係 (18.4)	部活動 (17.2)	制服 (12.0)
令和5年度	人間関係 (18.4)	部活動 (15.1)	授業 (14.7)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目 (「その他」除く) >

【増加】特になし (+5.8) 【減少】部活動 (-6.2)



【定時制】

< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	人間関係 (20.4)	校則 (18.7)	授業 (14.9)
令和6年度	人間関係 (22.7)	校則 (15.0)	授業 (13.7)
令和5年度	人間関係 (23.3)	授業 (19.3)	校則 (13.3)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目 (「その他」除く) >

【増加】校則 (+3.7) 【減少】資格取得 (-2.5)

※本質問項目は、R5から設定

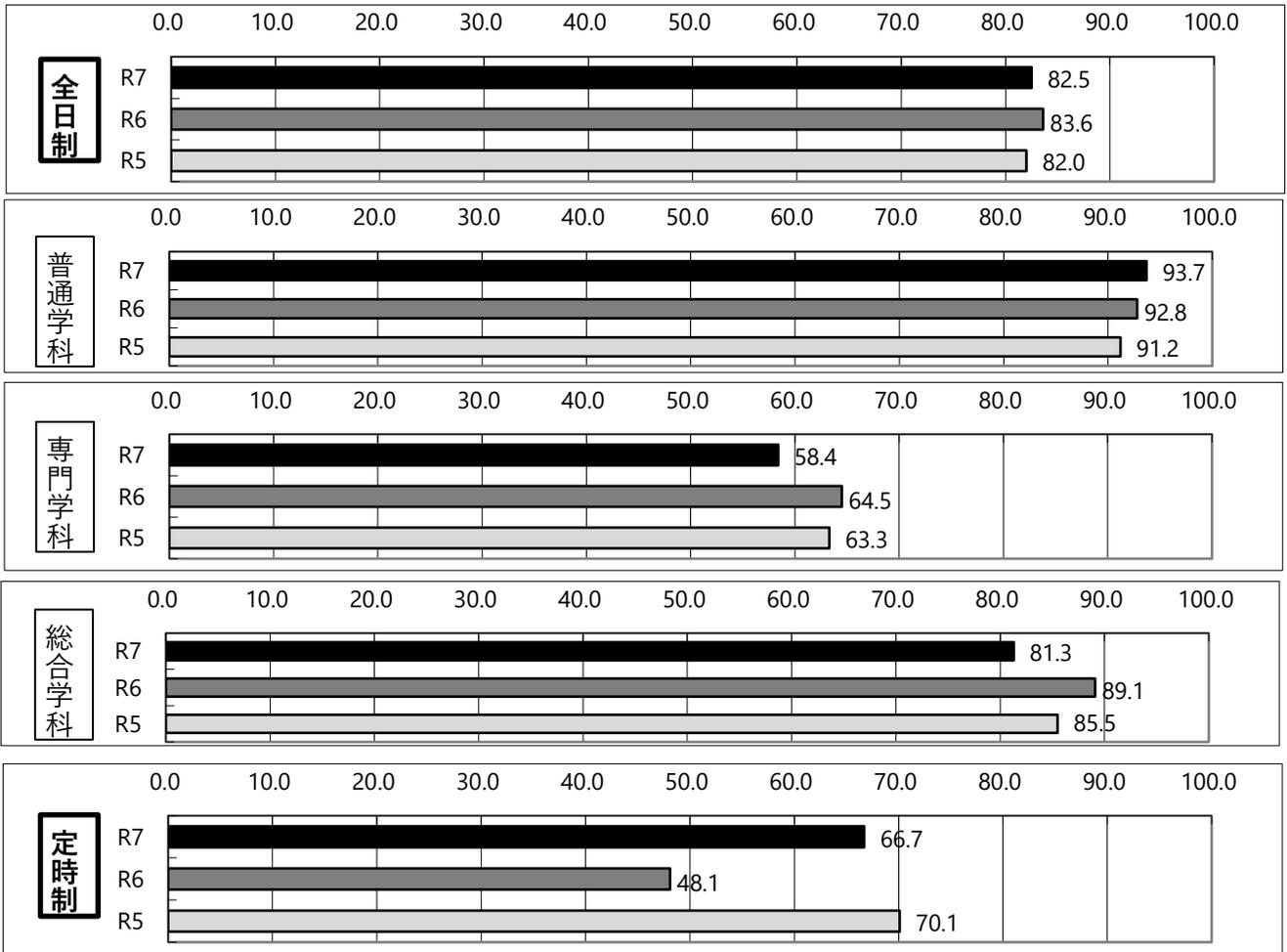
○すべての課程、学科で、「人間関係」と回答する割合が上位に位置しており、それ以外の上位項目が各学科や課程の特徴を表しているといえる。各学科、課程において、以下のような特徴がみられる。

- ・普通学科においては、「部活動」、「授業」と回答する割合が高い。
- ・専門学科においては、「資格取得」と回答する割合が最も高く、さまざまな資格が取得できることが学科としての魅力となっている。
- ・総合学科においては、「部活動」、「進路」、「制服」、「資格取得」などの回答の割合が高く、回答が分散する傾向がある。
- ・定時制においては、「校則」と「授業」の回答の割合が高い。また、全日制と比較すると、「教員」と「校則」と回答する割合が高い。

4 総合的な探究の時間（課題研究等）では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理し、調べたことを発表していますか

課程・学科種別（％）		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	37.4	45.1	9.6	7.9	2,570	3.12
	（普通学科）	47.7	46.0	4.8	1.5	1,653	3.40
	（専門学科）	15.1	43.3	18.4	23.2	762	2.50
	（総合学科）	37.4	43.9	17.4	1.3	155	3.17
	定時制	25.9	40.8	18.5	14.8	108	2.78

< 肯定的回答（4・3）割合（％） >



※本質問項目は、R5から設定

○普通学科において、この2年は、肯定的な回答の割合が、90%以上を継続している。

○専門学科において、R7は普通学科や総合学科と比較して、肯定的な回答の割合が低く、総合的な探究の時間や課題研究における、課題設定、情報整理などが、生徒にとって主体的な活動となるような工夫が必要である。

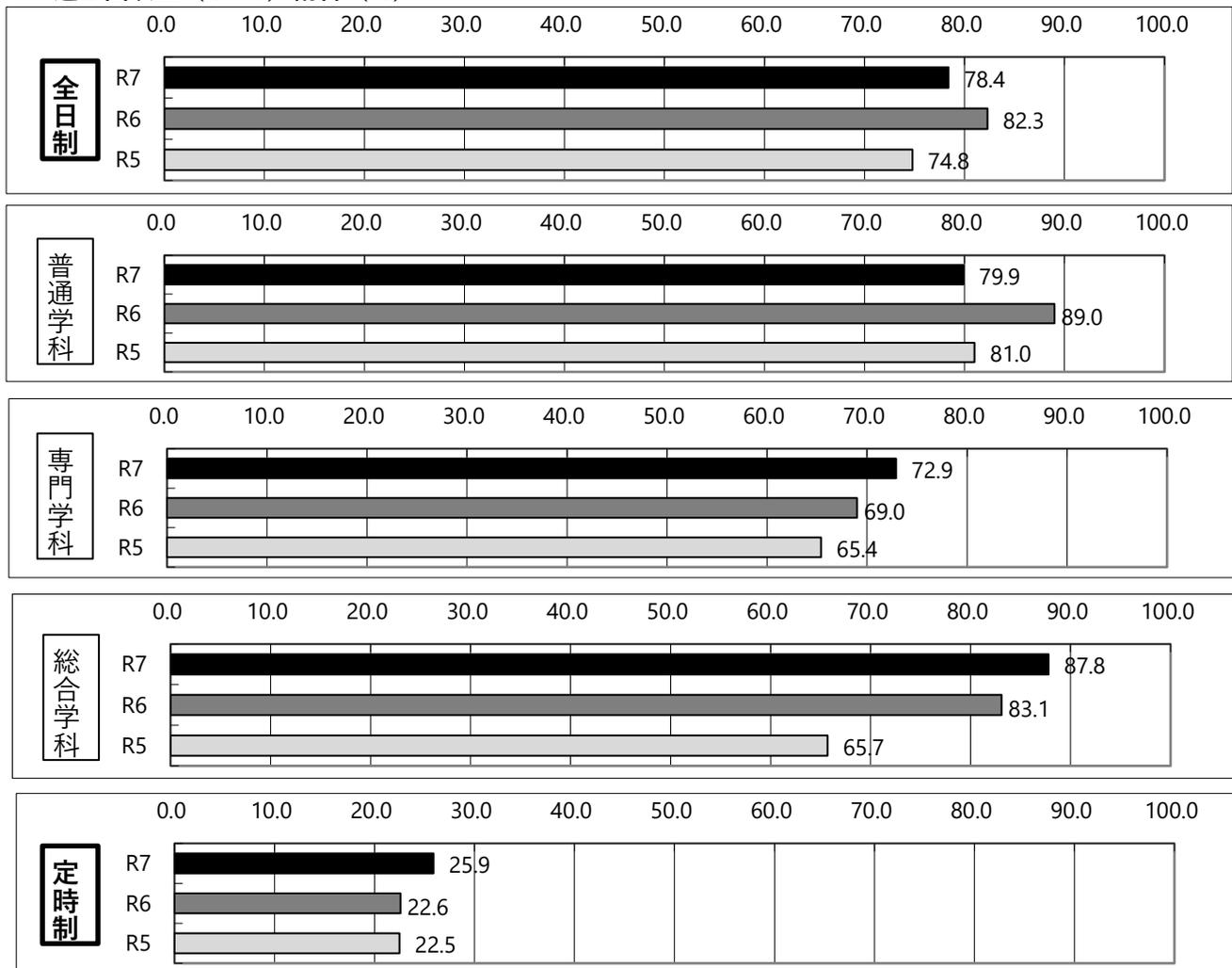
○総合学科において、この2年は、肯定的な回答の割合が減少している。総合学科においても、総合的な探究の時間における生徒の主体的な活動を促進していく必要がある。

○定時制において、R7に肯定的な回答の割合が顕著に増加した。

5 授業では、ICT機器（PC,Chromebook、タブレット等）をどの程度使用していますか

課程・学科種別（％）		5 ほぼ毎日	4 週3回以上	3 週1回以上	2 月1回以上	1 月1回未満	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	52.7	25.7	17.4	3.0	1.2	2,570	4.26
	（普通学科）	57.9	22.0	15.4	3.6	1.1	1,653	4.32
	（専門学科）	40.0	32.9	23.2	2.2	1.7	762	4.07
	（総合学科）	58.1	29.7	10.3	1.3	0.6	155	4.43
	定時制	12.0	13.9	42.6	20.4	11.1	108	2.95

<週3回以上（5・4）割合（％）>



※本質問項目は、R5から設定

○普通学科において、「週3回以上（5または4）」の回答の割合は、1人1台端末の配備が完了したR6に比べ、R7は減少した。授業における日常的な活用の促進が必要である。

○専門学科において、「週3回以上（5または4）」の回答の割合は増加しているが、その回答の割合は、普通学科や総合学科と比較して低い。授業における、さらなる活用の促進が必要である。

○総合学科において、この3年、「週3回以上（5または4）」の回答の割合は増加しており、ICT機器の活用が進んでいると考えられる。

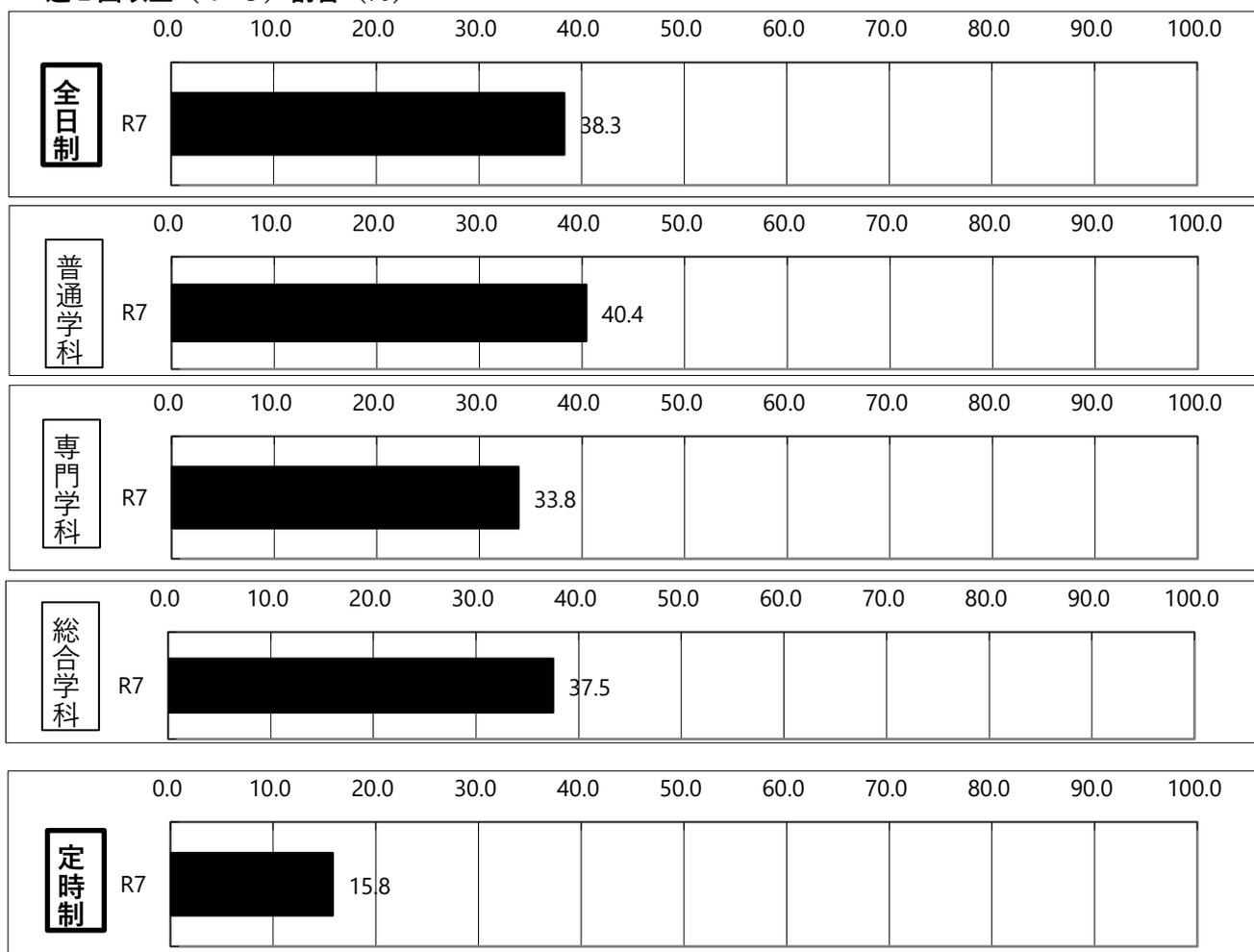
6 学習活動における、生成AI（Gemini、ChatGPT等）の利用

(1) 授業の中で生成AIを活用している

※R7年度から設定した質問事項

課程・学科種別 (%)		4 ほぼ毎日	3 週1回以上	2 月1回以上	1 使ったことがない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	9.3	29.0	23.9	37.8	2,570	2.10
	(普通学科)	10.6	29.8	23.8	35.8	1,653	2.15
	(専門学科)	6.0	27.8	25.2	41.0	762	1.99
	(総合学科)	11.0	26.5	18.7	43.8	155	2.05
	定時制	2.8	13.0	24.1	60.1	108	1.59

<週1回以上（4・3）割合（%）>



○すべての課程、学科において、質問項目6(2)の「授業外での学習における活用」と比較して、「週1回以上（4または3）」の回答の割合は低い。特に、普通学科と定時制でその差が大きい。授業の中での活用よりも、授業以外での活用が進んでいる。

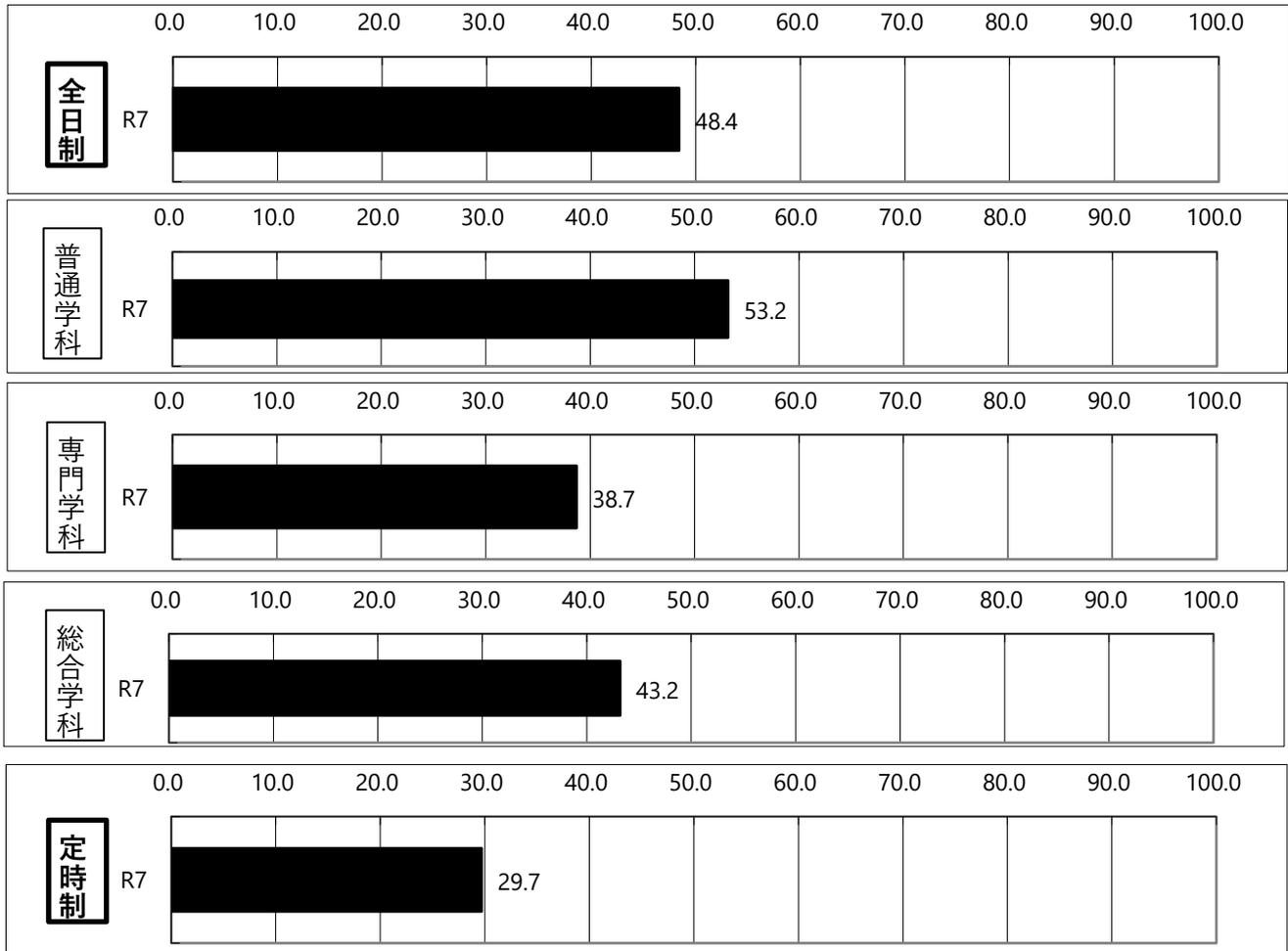
6 学習活動における、生成AI（Gemini、ChatGPT等）の利用

(2) 授業以外の学習活動で生成AIを活用している

※R7年度から設定した質問事項

課程・学科種別 (%)		4 ほぼ毎日	3 週1回以上	2 月1回以上	1 使ったことがない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	14.7	33.7	27.7	23.9	2,570	2.39
	(普通学科)	17.2	36.0	28.3	18.5	1,653	2.52
	(専門学科)	9.7	29.0	28.2	33.1	762	2.15
	(総合学科)	12.9	30.3	20.0	36.8	155	2.19
	定時制	9.3	20.4	18.5	51.8	108	1.87

<週1回以上（4・3）の割合（%）>



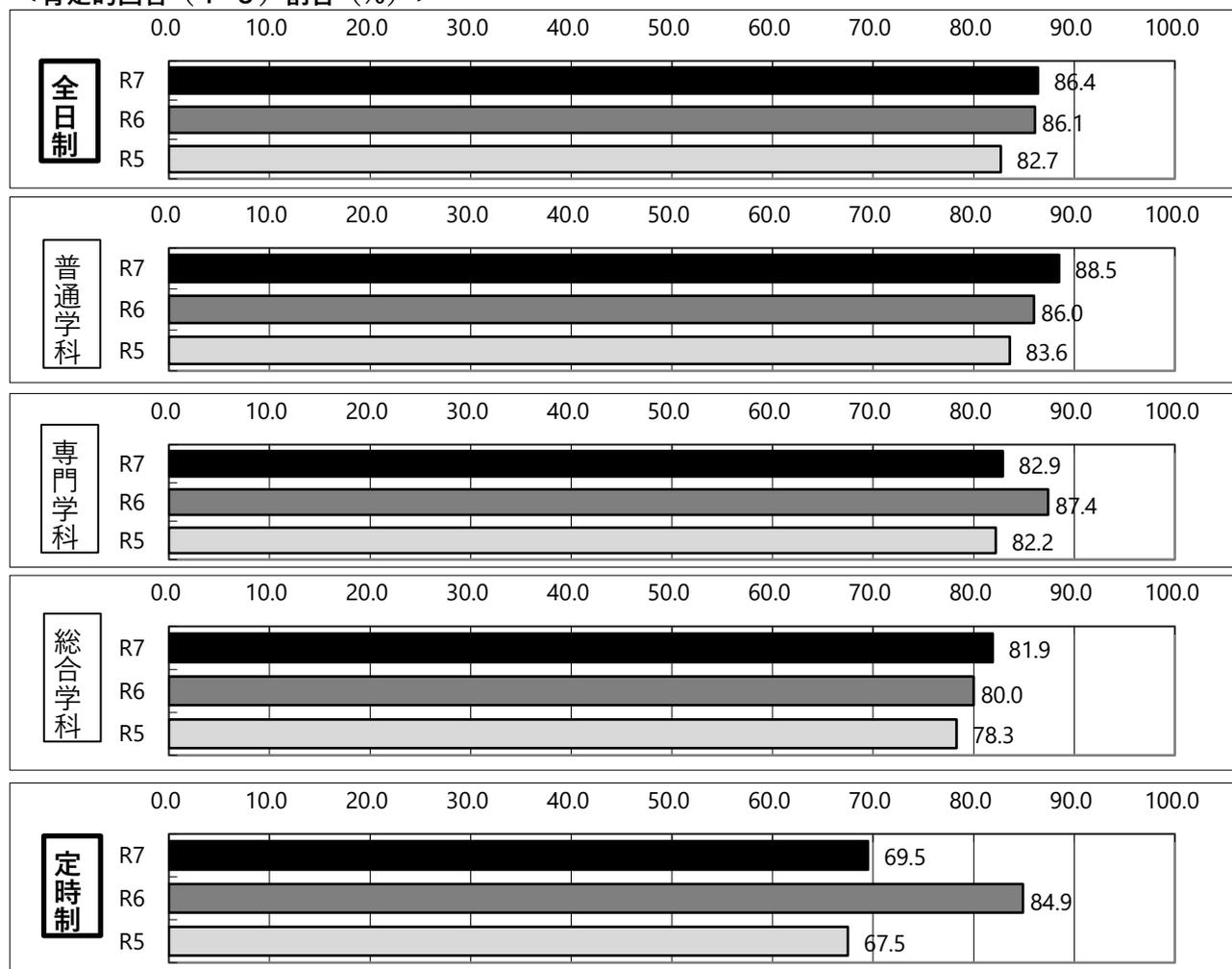
○すべての課程、学科において、授業での活用に比べ、自主学習のためのツールとしての活用の割合が高い状況を踏まえ、教材としての有効で適切な活用、さらには、生徒の情報モラルや情報活用能力の育成を目指した適切な生成AIの活用指導が必要である。

7 高校生活における進路や学習の意識

(1) 自分には良いところがあると思う

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	34.0	52.4	10.8	2.8	2,570	3.18
	(普通学科)	37.4	51.1	9.0	2.5	1,653	3.23
	(専門学科)	28.0	54.9	13.6	3.5	762	3.07
	(総合学科)	27.1	54.8	15.5	2.6	155	3.06
	定時制	27.8	41.7	22.2	8.3	108	2.89

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



※本質問項目は、R4から設定

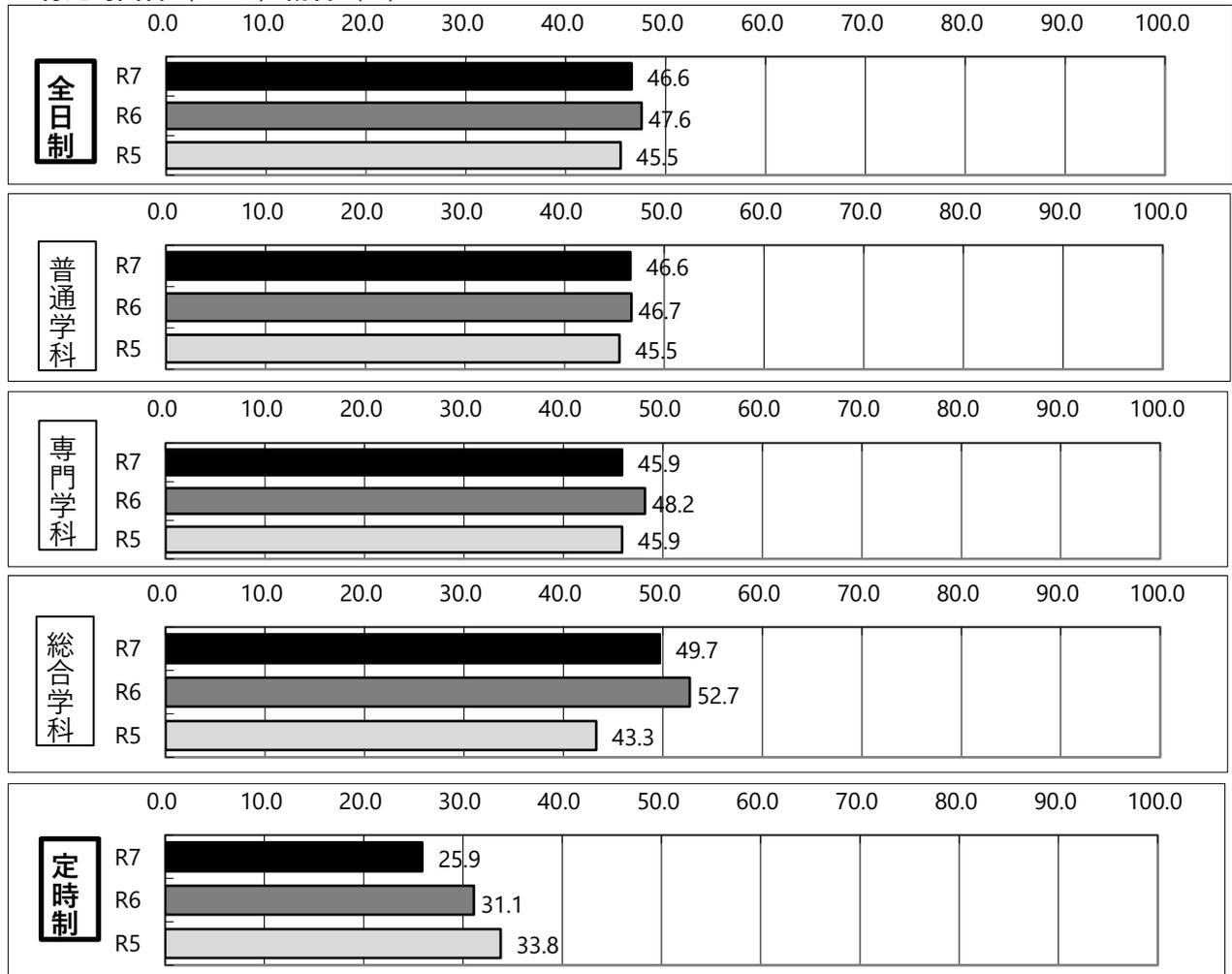
○全日制のすべての学科において、R4との比較では、R7は肯定的な回答の割合は増加しているが、普通学科と比較して、専門学科と総合学科の増加が大きい（R4との比較で、普通学科3.5ポイント増、専門学科6.6ポイント増、総合学科9.4ポイント増）。ただし、専門学科においては、R7は減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(2) ボランティア活動に参加し、社会に貢献している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	17.6	29.0	33.5	19.9	2,570	2.44
	(普通学科)	17.8	28.8	34.0	19.4	1,653	2.45
	(専門学科)	16.0	29.9	33.6	20.5	762	2.41
	(総合学科)	23.2	26.5	27.1	23.2	155	2.50
	定時制	6.5	19.4	28.7	45.4	108	1.87

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



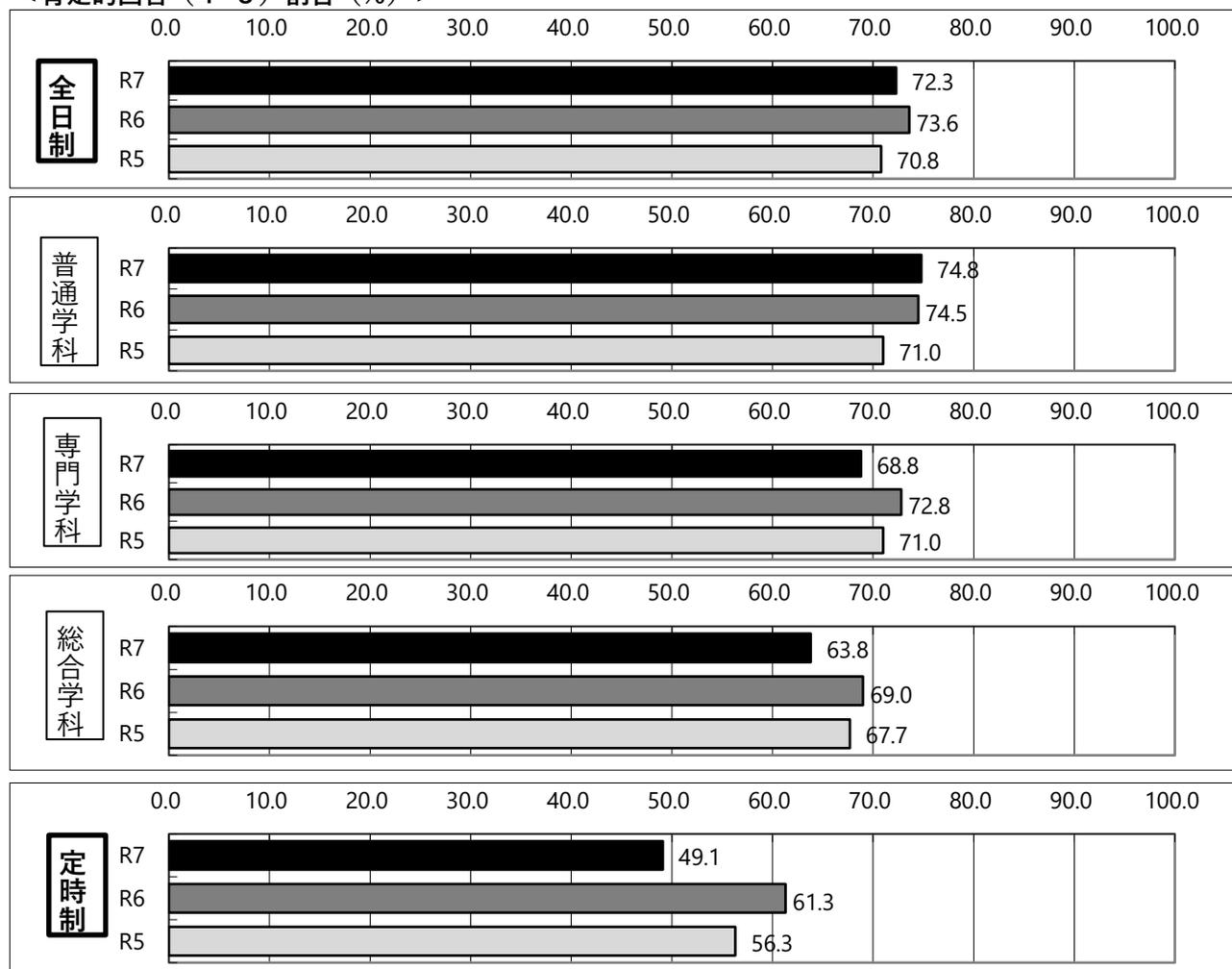
○全日制のすべての学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が増加傾向であった（H28との比較で、普通学科18.6ポイント増、専門学科15.5ポイント増、総合学科13.8ポイント増）。しかし、R7は大きな変化は見られないか、やや減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(3) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	23.4	48.9	23.8	3.9	2,570	2.92
	(普通学科)	26.1	48.7	21.9	3.3	1,653	2.98
	(専門学科)	19.4	49.4	26.5	4.7	762	2.84
	(総合学科)	13.5	50.3	31.0	5.2	155	2.72
	定時制	18.5	30.6	32.4	18.5	108	2.49

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



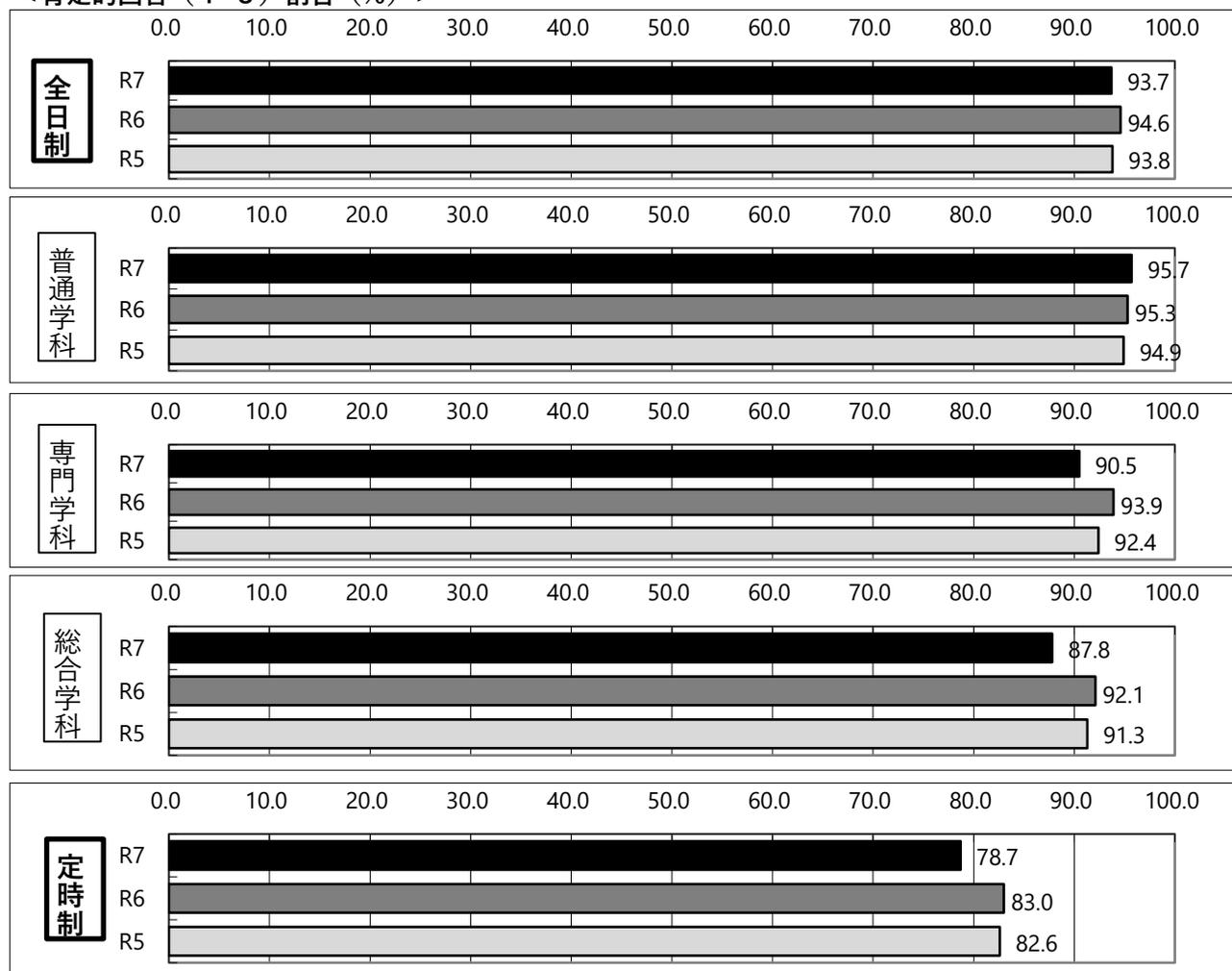
○全日制のすべての学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向である（H28との比較で、普通学科11.9ポイント増、専門学科12.1ポイント増、総合学科13.1ポイント増）。ただし、R7は、普通学科では大きな変化が見られず、専門学科と総合学科では減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(4) 将来、人の役に立つ人間になりたいと思う

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	54.8	38.9	4.9	1.4	2,570	3.47
	(普通学科)	59.9	35.8	3.2	1.1	1,653	3.55
	(専門学科)	45.2	45.3	7.5	2.0	762	3.34
	(総合学科)	45.9	41.9	10.3	1.9	155	3.32
	定時制	36.1	42.6	13.0	8.3	108	3.07

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



※本質問項目は、R4から設定

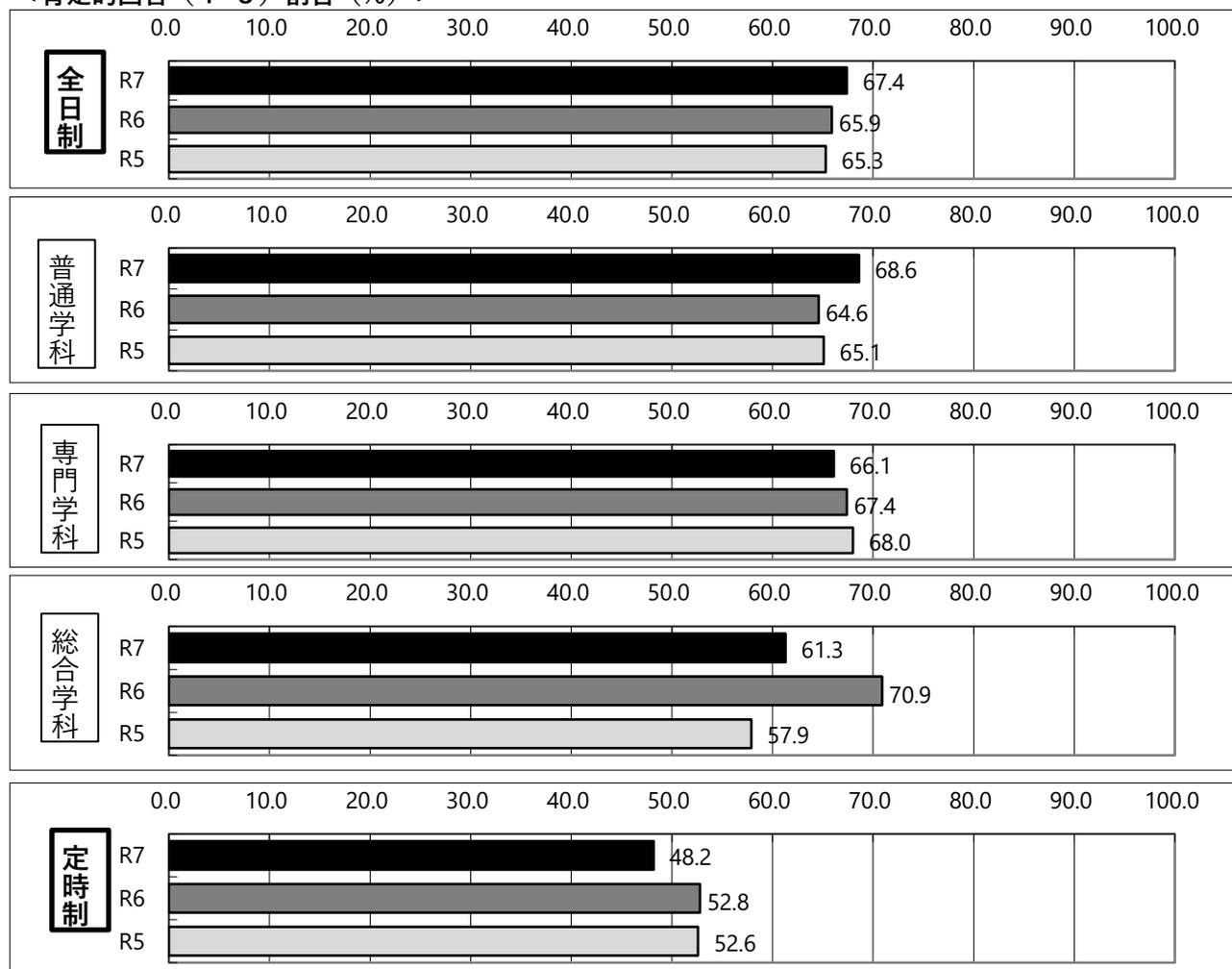
○全日制のすべての学科において、R4～6は肯定的な回答の割合に大きな変化はなかったが、R7は、専門学科と総合学科でやや減少している。全日制全体としては、肯定的な回答の割合は、常に90%以上を継続している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(5) 住んでいる地域や鳥取県の出来事に関心がある

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	22.6	44.8	24.2	8.4	2,570	2.82
	(普通学科)	24.6	44.0	23.8	7.6	1,653	2.86
	(専門学科)	19.4	46.7	24.1	9.8	762	2.76
	(総合学科)	17.4	43.9	29.0	9.7	155	2.69
	定時制	12.0	36.2	25.9	25.9	108	2.34

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○全日制のすべての学科において、H28以降の10年では、肯定的な回答の割合は増加した（H28との比較で、普通学科15.4ポイント増、専門学科22.8ポイント増、総合学科29.6ポイント増）。各校におけるふるさとキャリア教育、地域連携型の探究活動、地域人材の活用等の取組が影響していると考えられる。ただし、R7は、専門学科はほぼ変化がなく、総合学科は減少した。

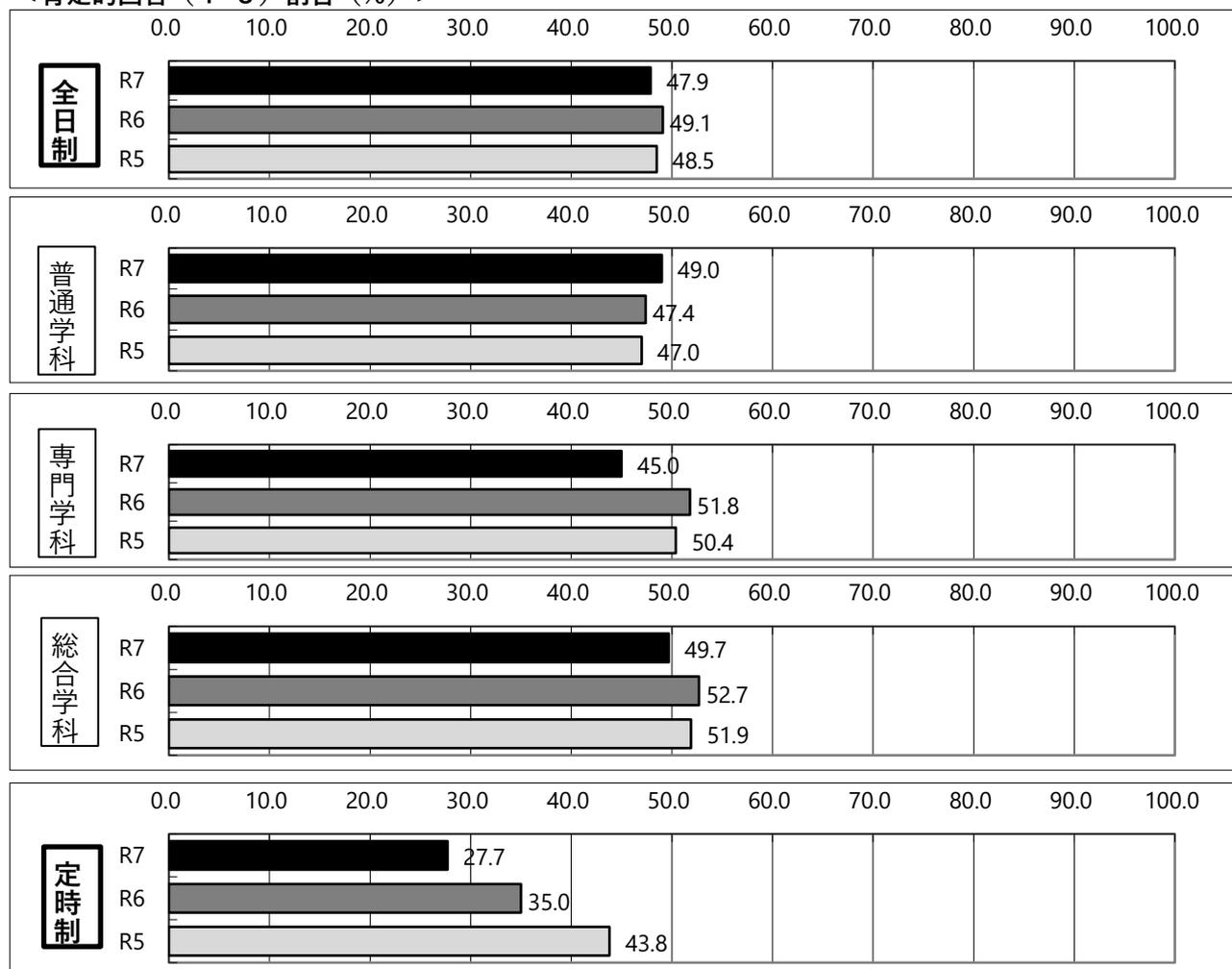
※教育振興基本計画における目標値 R10：70%

7 高校生活における進路や学習の意識

(6) 地域の行事に参加している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	18.3	29.6	32.5	19.6	2,570	2.47
	(普通学科)	19.5	29.5	31.7	19.3	1,653	2.49
	(専門学科)	15.7	29.3	34.4	20.6	762	2.40
	(総合学科)	17.4	32.3	31.6	18.7	155	2.48
	定時制	8.3	19.4	26.9	45.4	108	1.91

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○全日制のすべての学科において、H28以降の10年は、R6までは、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は、普通学科はほぼ変化なく、専門学科、総合学科は減少している。

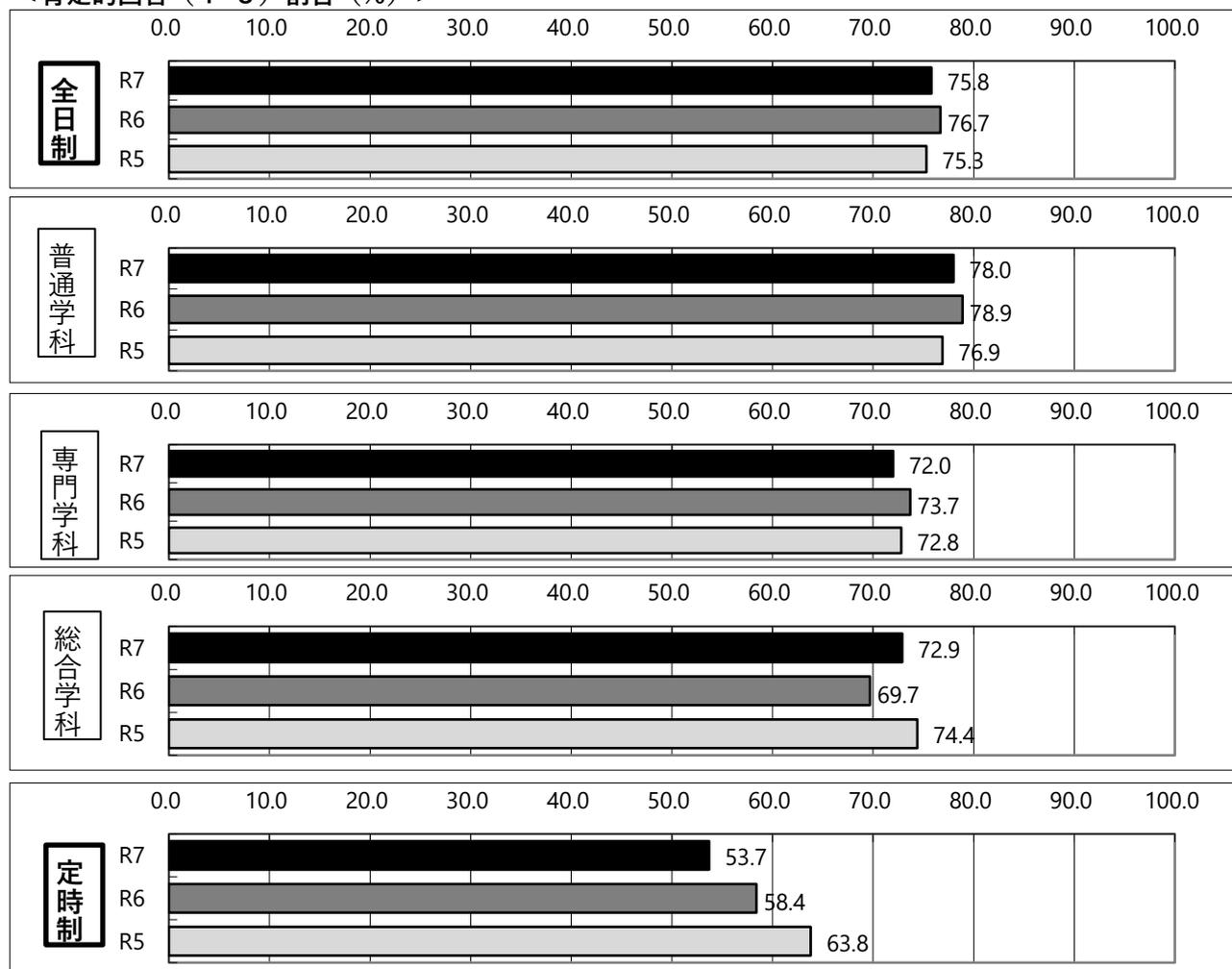
○定時制においては、H28以降の10年は、R5までは、肯定的な回答の割合が連続的に増加したが、この2年間では、連続的に減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(7) 将来の夢や目標を持っている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	39.8	36.0	17.5	6.7	2,570	3.09
	(普通学科)	41.8	36.2	15.8	6.2	1,653	3.14
	(専門学科)	35.7	36.3	20.3	7.7	762	3.00
	(総合学科)	40.0	32.9	20.6	6.5	155	3.06
	定時制	29.6	24.1	17.6	28.7	108	2.55

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が約75～80%の間を推移しており、大きな変化がみられず、R7もその傾向が続いている。

○専門学科において、H28以降の10年は、R2までは、肯定的な回答の割合が増加した（H28～R2にかけて、7.1ポイント増）。その後は大きな変化が見られず、R7もその傾向が続いている。

○総合学科において、H28以降の10年は、R3までは、肯定的な回答の割合が増加した（H28～3にかけて、11.3ポイント増）。その後は大きな変化が見られず、R7もその傾向が続いている。

○定時制において、この3年、肯定的な回答の割合が連続して減少している。

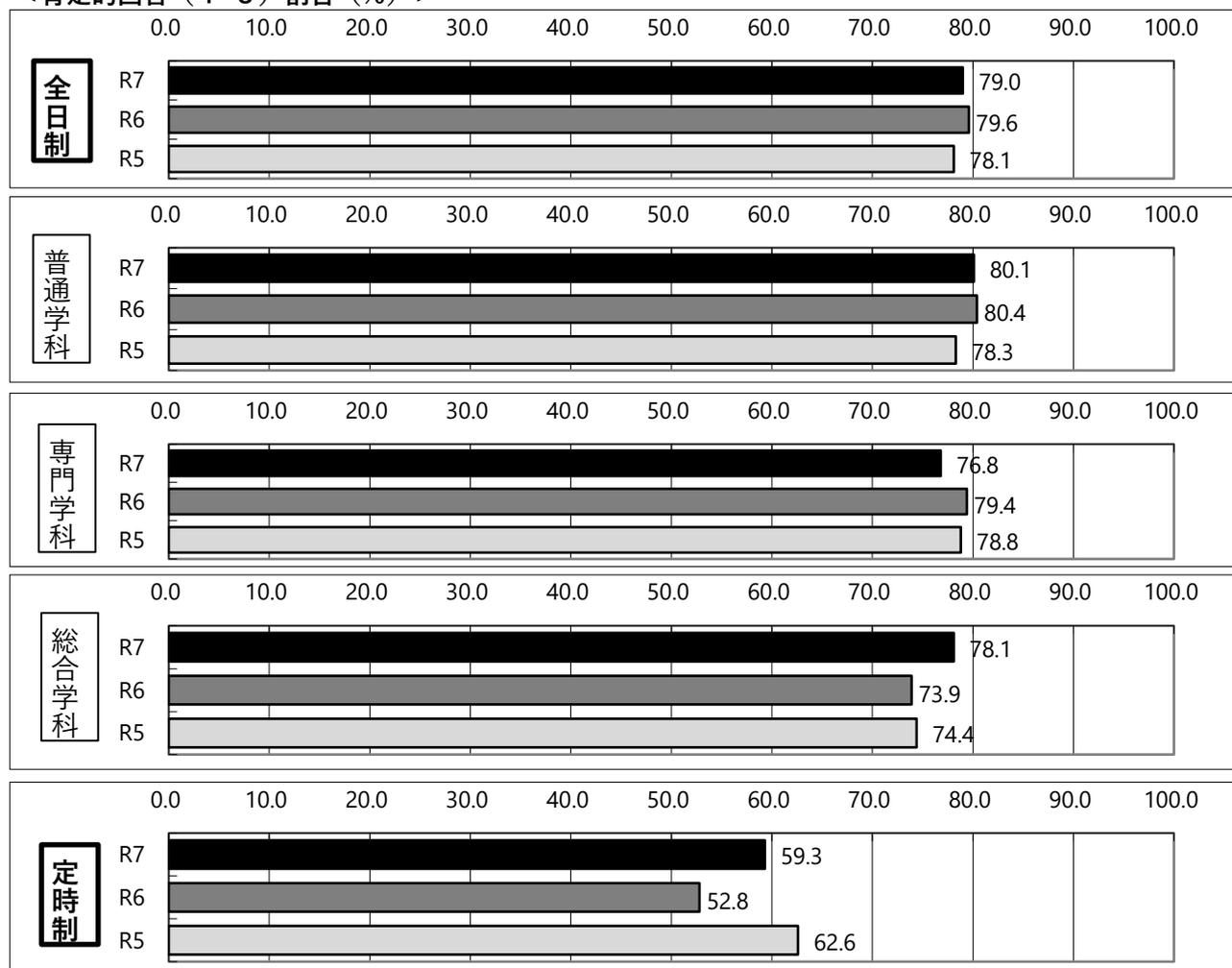
※教育振興基本計画における目標値 R10：80%

7 高校生活における進路や学習の意識

(8) 進路希望を実現するため、目標に向かって努力している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	32.6	46.4	17.6	3.4	2,570	3.08
	(普通学科)	34.7	45.4	16.8	3.1	1,653	3.12
	(専門学科)	27.7	49.1	19.3	3.9	762	3.01
	(総合学科)	34.2	43.9	18.7	3.2	155	3.09
	定時制	25.0	34.3	23.1	17.6	108	2.67

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、H30～R3は、肯定的な回答の割合が増加した（H30～R3にかけて9.8ポイント増）が、その後は80%前後で推移しており、R7もその傾向が続いている。

○専門学科において、H28以降の10年は、R3までは、肯定的な回答の割合が増加した（H28～R3にかけて16.5ポイント増）が、その後は80%弱で推移しており、R7もその傾向が続いている。

○総合学科において、H28以降の10年は、R1～3は、肯定的な回答の割合が増加した（R1～3にかけて28.1ポイント増）が、R4に12.5ポイント減少した。その後、ゆるやかな増加傾向となり、R7もその傾向が続いている。

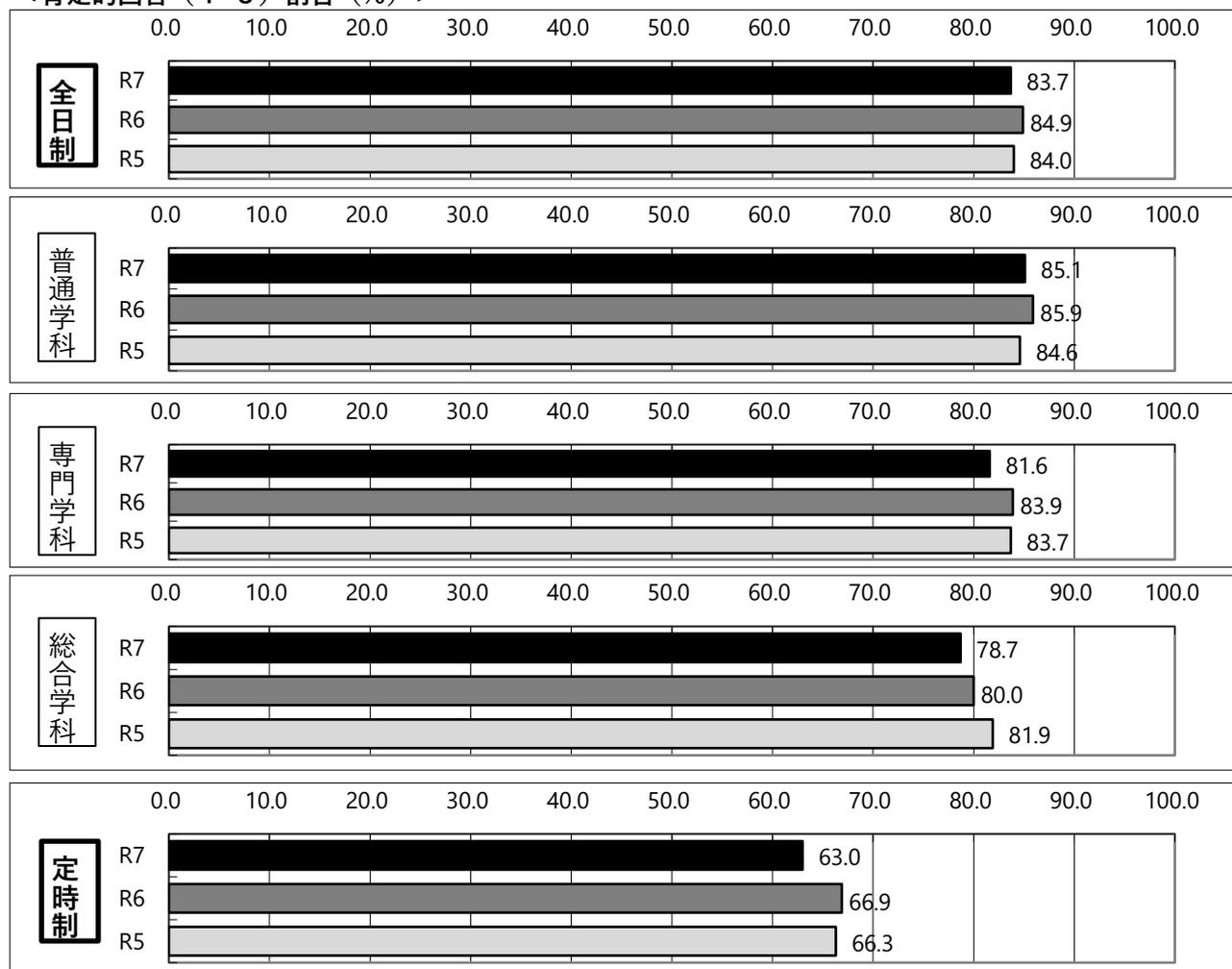
※教育振興基本計画における目標値 R10：80%

7 高校生活における進路や学習の意識

(9) 将来の仕事を意識しながら進路を決定しようとしている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	40.2	43.5	12.6	3.7	2,570	3.20
	(普通学科)	43.1	42.0	11.5	3.4	1,653	3.25
	(専門学科)	34.1	47.5	13.9	4.5	762	3.11
	(総合学科)	39.4	39.3	18.1	3.2	155	3.15
	定時制	30.6	32.4	22.2	14.8	108	2.79

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



※本質問項目は、R4から設定

○普通学科と専門学科において、R5～7は、肯定的な回答の割合は、ほぼ変化がみられない（増減の幅は最大でも3%程度）。

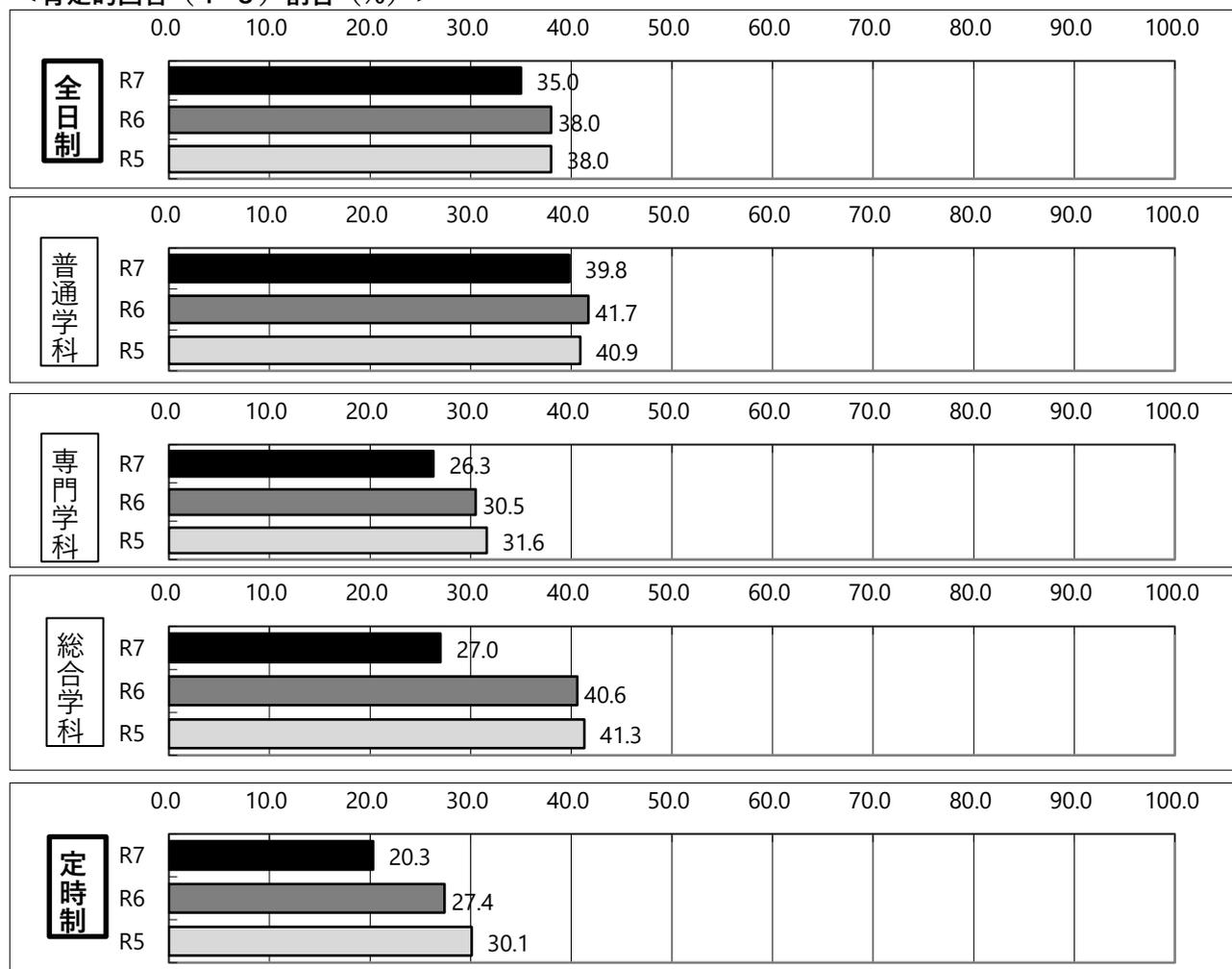
○総合学科において、この2年、肯定的な回答の割合が連続して減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(10) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思っている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	15.0	20.0	28.4	36.6	2,570	2.13
	(普通学科)	18.1	21.7	29.2	31.0	1,653	2.27
	(専門学科)	8.5	17.8	26.5	47.2	762	1.88
	(総合学科)	13.5	13.5	29.0	44.0	155	1.97
	定時制	8.3	12.0	13.0	66.7	108	1.62

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が増加傾向であるが、R7は減少している（H28との比較で12.0ポイント増）。

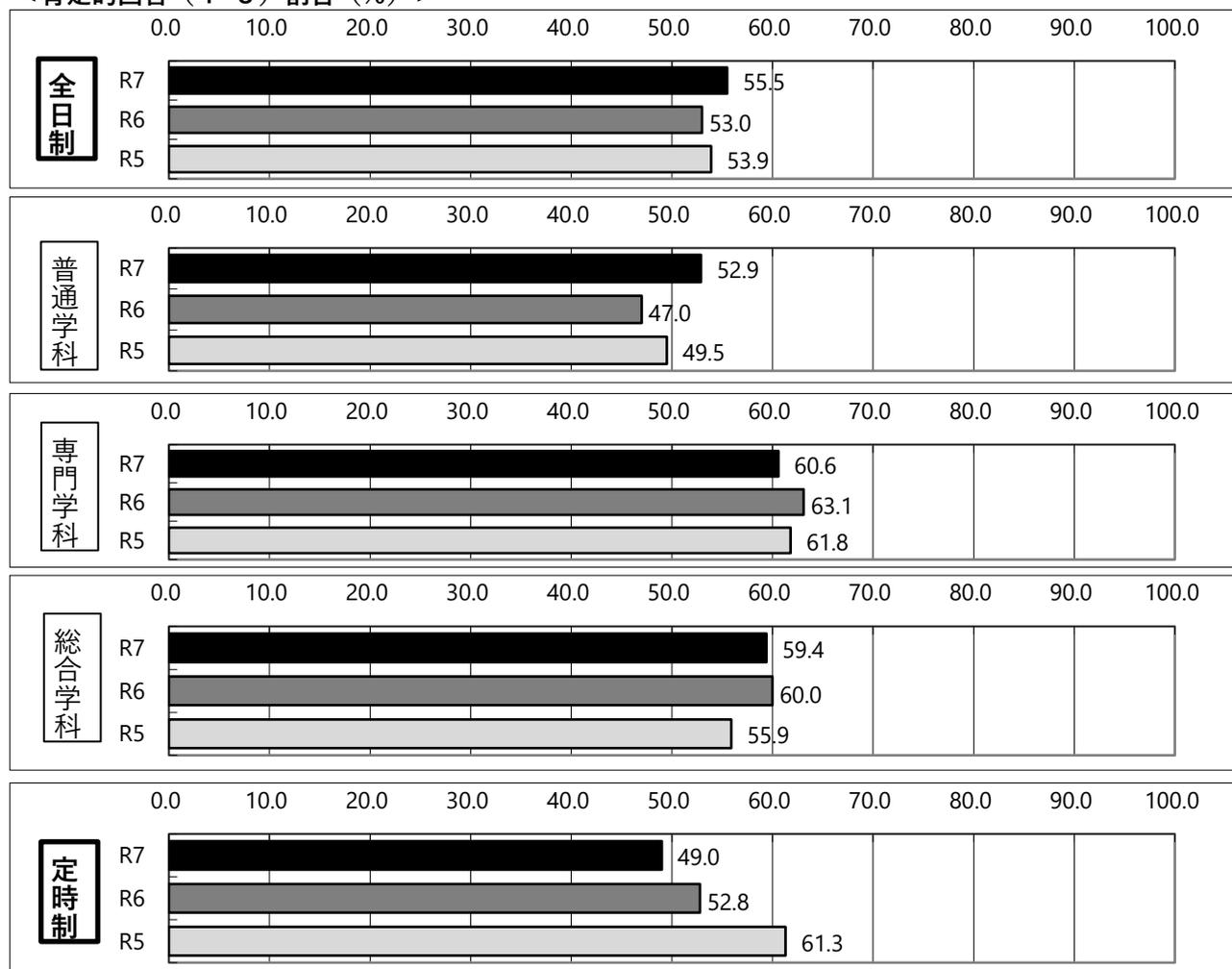
○専門学科と総合学科において、H28以降の10年は、R5までは、肯定的な回答の割合が増加傾向であった（H28～R5にかけて、専門学科17.6ポイント増、総合学科24.7ポイント増）が、この2年は減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(11) 将来は、今住んでいる地域や鳥取県で働きたいと思っている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	21.5	34.0	27.9	16.6	2,570	2.60
	(普通学科)	20.4	32.5	29.9	17.2	1,653	2.56
	(専門学科)	23.5	37.1	24.3	15.1	762	2.69
	(総合学科)	23.2	36.2	23.2	17.4	155	2.65
	定時制	23.1	25.9	20.4	30.6	108	2.42

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が増加し（H28との比較で6.5ポイント増）、R7は最高値となった。

○専門学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合が、約55～65%で推移しており、普通学科や総合学科と比較して、その割合は高い傾向にあり、R7もその傾向が続いている。

○総合学科において、H28以降の10年は、R1に肯定的な回答の割合が9.7ポイント増加し、それ以降55～60%で推移しており、R7もその傾向が続いている。

○全日制において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は、普通学科に比べ、常に専門学科、総合学科が高く、そのなかでも専門学科が最も高くなる傾向がある。

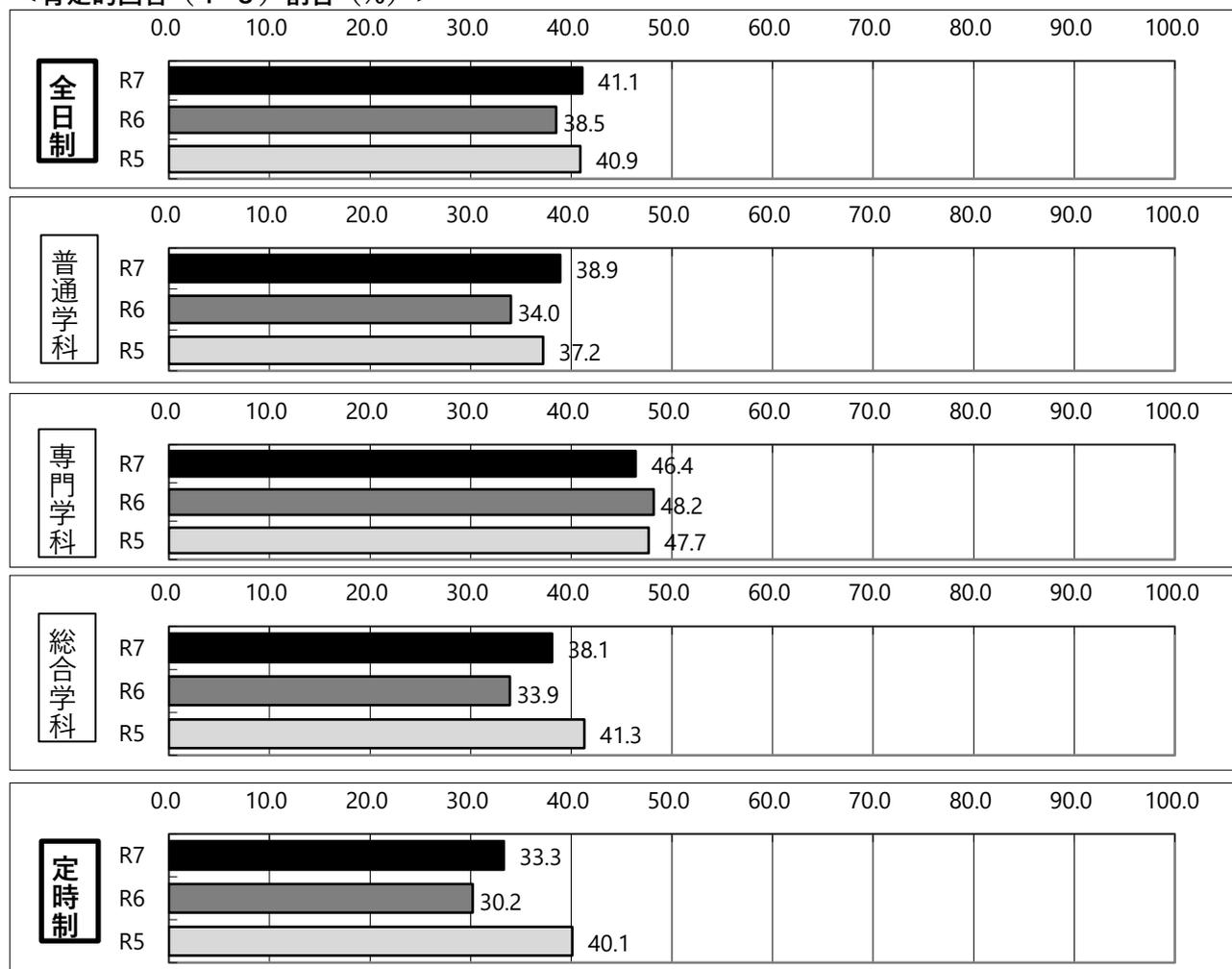
※教育振興基本計画における目標値 R10：60%

7 高校生活における進路や学習の意識

(12) 鳥取県には将来働いてみたいと思う仕事や企業がある

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	14.2	26.9	35.7	23.2	2,570	2.32
	(普通学科)	14.3	24.6	36.7	24.4	1,653	2.29
	(専門学科)	14.4	32.0	33.7	19.9	762	2.41
	(総合学科)	12.3	25.8	36.1	25.8	155	2.25
	定時制	12.0	21.3	27.8	38.9	108	2.06

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



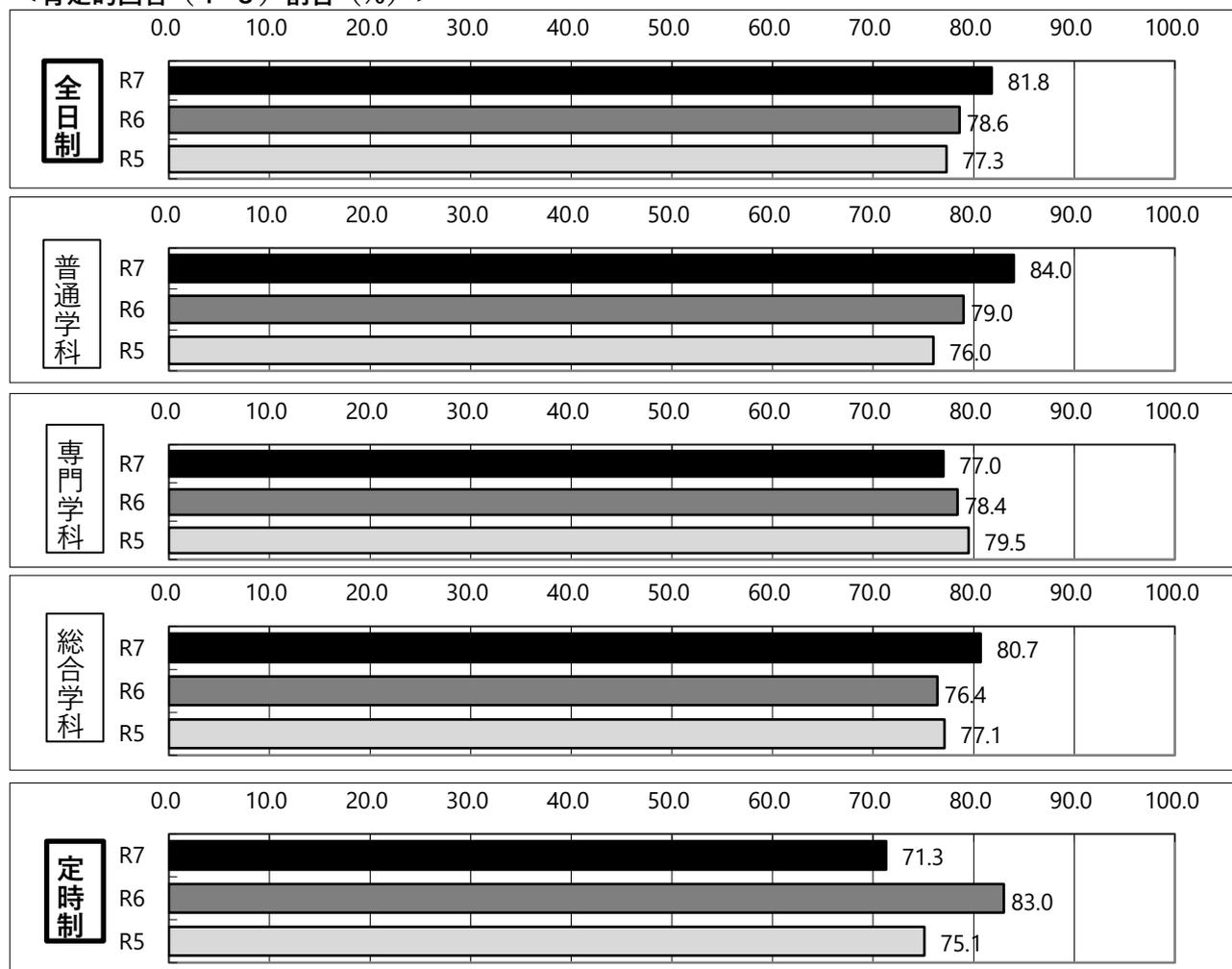
- 普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は30%台を推移しており、R7もその傾向が続いている。
- 専門学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は40%台を推移しており、普通学科や総合学科と比較するとその割合は高く、R7もその傾向が続いている。
- 総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は、R3の42.8%をピークに減少傾向であったが、R7は増加した。
- 全日制のすべての学科において、この3年は、質問項目7(11)の肯定的な回答の割合よりも12～26ポイントほど低く、鳥取県で働きたい気持ちはあるが、希望する仕事や企業がない、と感じている生徒が一定数存在すると考えられる。

7 高校生活における進路や学習の意識

(13) 学校の授業は、分かりやすく、充実したものが多い

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	22.5	59.3	15.7	2.5	2,570	3.02
	(普通学科)	25.2	58.8	14.2	1.8	1,653	3.07
	(専門学科)	17.6	59.4	19.2	3.8	762	2.91
	(総合学科)	18.1	62.6	14.8	4.5	155	2.94
	定時制	25.9	45.4	21.3	7.4	108	2.90

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向である（H28との比較で16.1ポイント増）。特に、この2年間で増加が大きく（R5～7にかけて8.0ポイント増）、R7は最高値となった。

○専門学科において、H28以降の10年は、R5までは、肯定的な回答の割合は増加傾向であった（H28～R5にかけて15.0ポイント増）が、この2年は減少している。

○総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は、一時的な増減を繰り返しているが、全体としては増加傾向であり（H28との比較で17.9ポイント増）、R7は最高値となった。

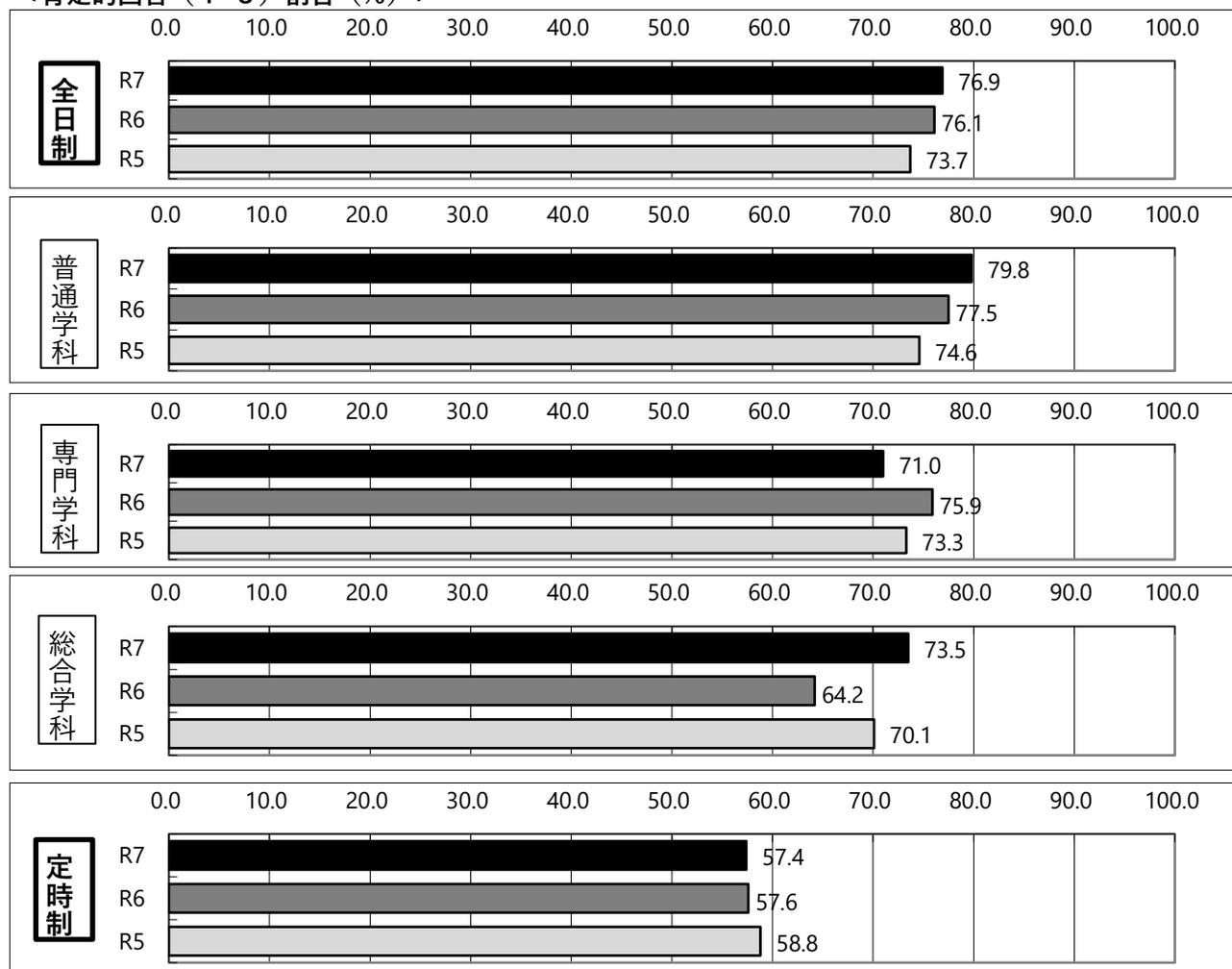
○定時制では、H28以降の10年は、R2～6は、肯定的な回答の割合が連続して増加した（R2～6にかけて24.6ポイント増）が、R7は減少している。

7 高校生活における進路や学習の意識

(14) 授業をとおして、意見や考えを相手に分かりやすく伝えられるようになった

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	21.7	55.2	19.6	3.5	2,570	2.95
	(普通学科)	24.3	55.5	17.4	2.8	1,653	3.01
	(専門学科)	16.7	54.3	23.8	5.2	762	2.83
	(総合学科)	18.1	55.4	23.9	2.6	155	2.89
	定時制	20.4	37.0	29.6	13.0	108	2.65

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



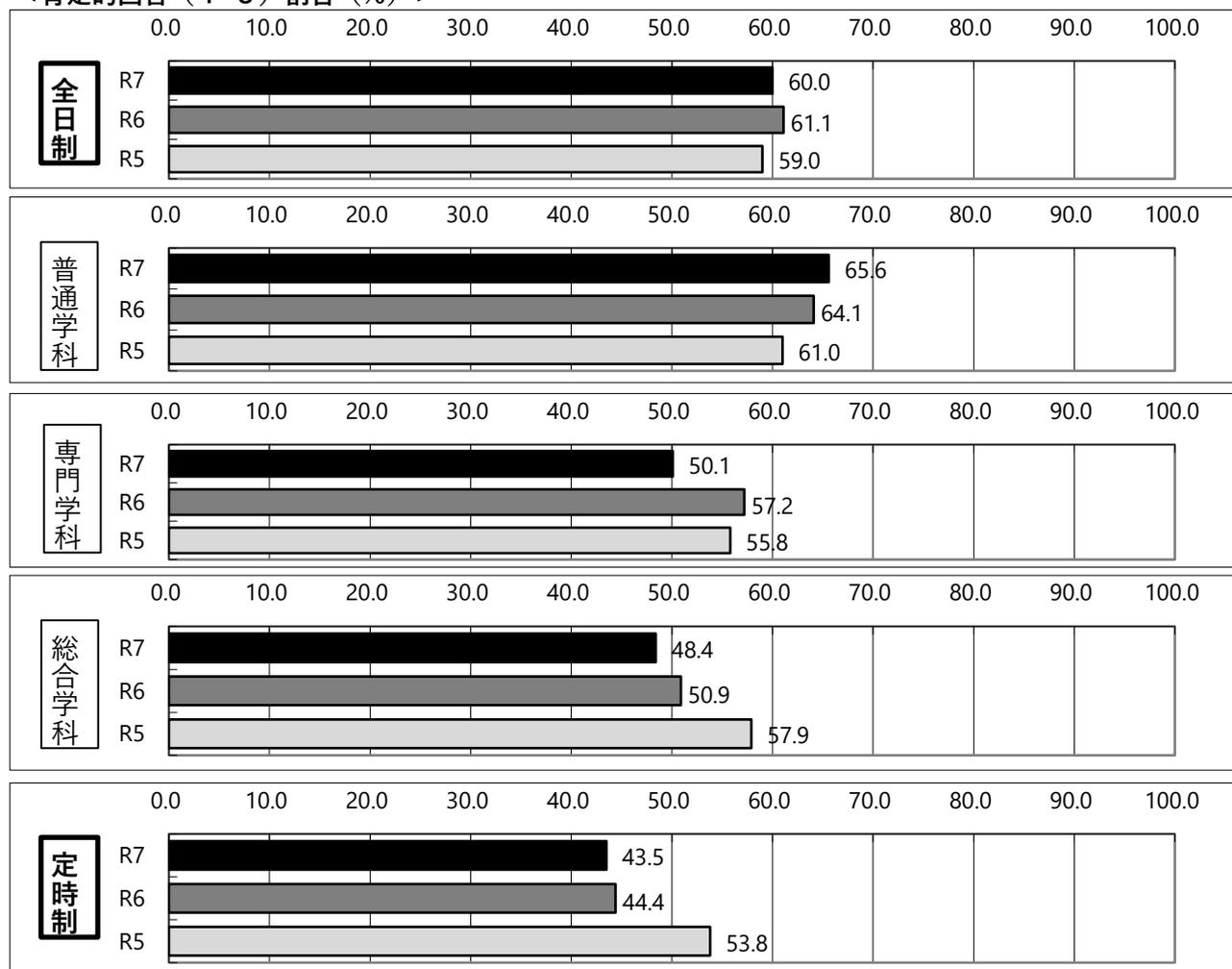
- 普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で28.7ポイント増）。
- 専門学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であったが、R7は減少している（H28との比較で26.3ポイント増）。
- 総合学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で32.8ポイント増）。
- 全日制において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は、専門学科や総合学科と比較して、普通学科が高い傾向にある。
- 定時制において、H28以降の10年は、R4までは、肯定的な回答の割合は増加傾向であった（H28～R4にかけて、17.3ポイント増）が、それ以降は60%弱で推移しており、R7もその傾向が続いている。

7 高校生活における進路や学習の意識

(15) 授業で学んだ学習内容に興味が深まって、授業時間以外でも自分から学んでいる

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	18.3	41.7	30.8	9.2	2,570	2.69
	(普通学科)	21.3	44.3	27.8	6.6	1,653	2.80
	(専門学科)	13.1	37.0	34.9	15.0	762	2.48
	(総合学科)	12.3	36.1	43.2	8.4	155	2.52
	定時制	17.6	25.9	34.3	22.2	108	2.39

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答の割合は増加傾向であり、R7は最高値となった（H28との比較で29.9ポイント増）。

○専門学科において、H28以降の10年は、R6までは肯定的な回答の割合が増加傾向であったが、R7は減少している。

○総合学科、定時制において、H28以降の10年は、R5までは肯定的な回答の割合が増加傾向であったが、この2年は減少している。

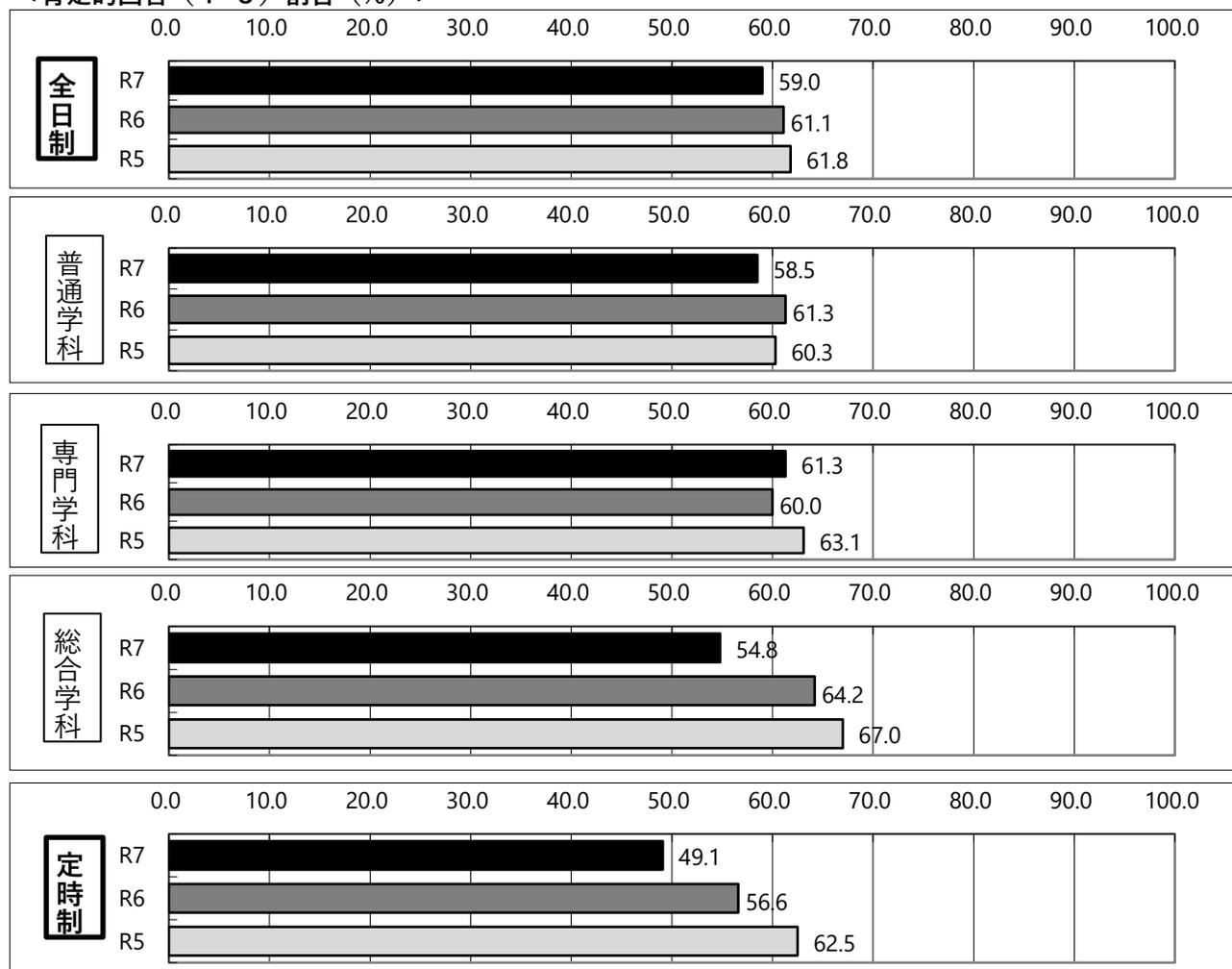
○全日制において、H28以降の10年、肯定的な回答の割合は、専門学科や総合学科と比較して、普通学科が常に高い。

7 高校生活における進路や学習の意識

(16) 読書が好きである

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	25.4	33.6	24.3	16.7	2,570	2.68
	(普通学科)	24.4	34.1	25.8	15.7	1,653	2.67
	(専門学科)	28.5	32.8	20.5	18.2	762	2.72
	(総合学科)	21.9	32.9	26.5	18.7	155	2.58
	定時制	25.0	24.1	24.1	26.8	108	2.47

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○全日制のすべての学科において、H28以降の10年は、肯定的な回答が減少傾向であり、R7もほぼ変化がないか、減少している（H28との比較で、普通学科4.4ポイント減、専門学科4.3ポイント減、総合学科15.5ポイント減）。

○定時制において、H28以降の10年は、R1～5は肯定的な回答の割合が増加傾向であった（R1～5にかけて、20.3ポイント増）が、この2年は減少傾向であり、H28との比較でも、4.1ポイントの減となっている。

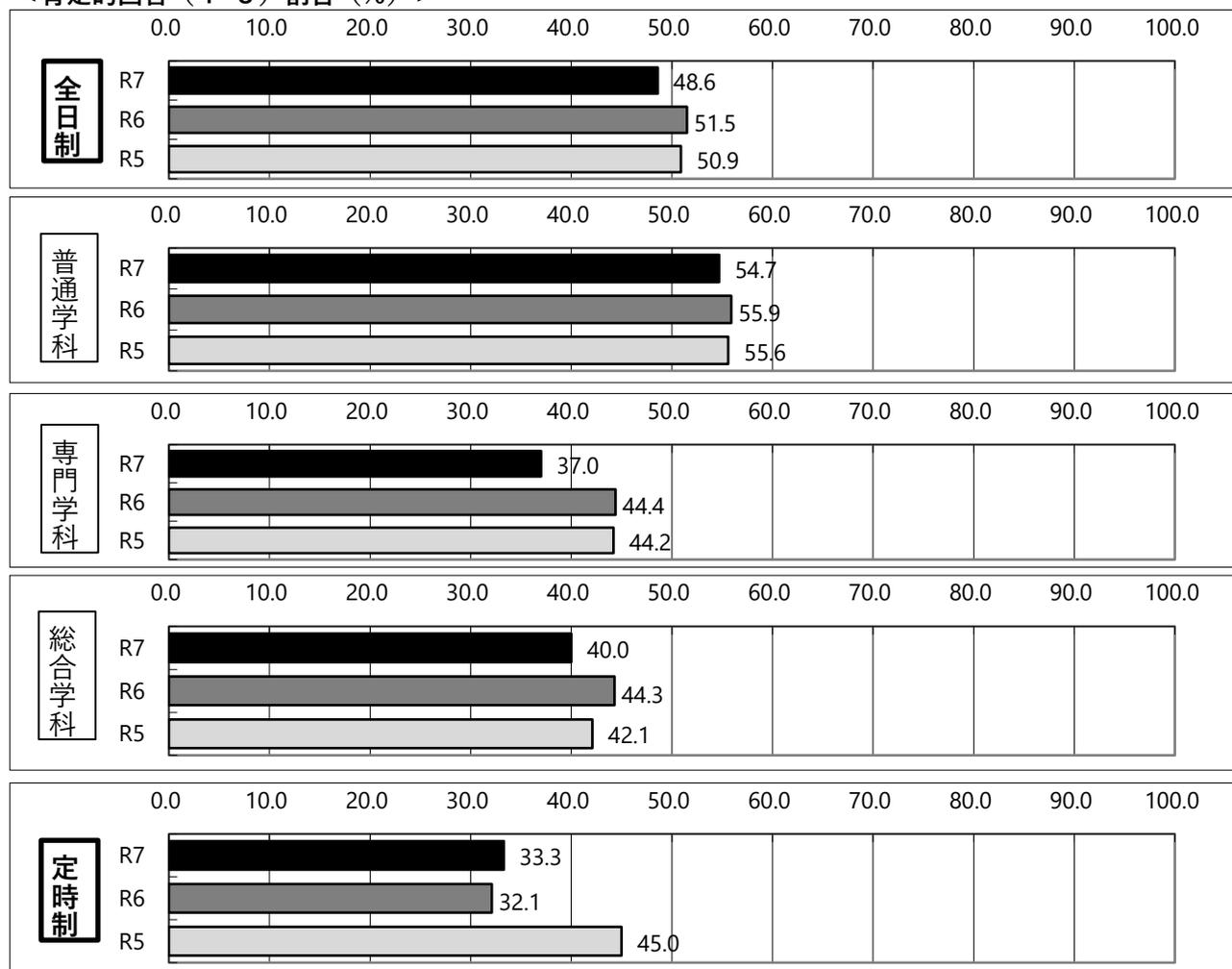
※教育に関する大綱における目標値 R7：70%

7 高校生活における進路や学習の意識

(17) 家で、自分で計画を立てて勉強している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	15.3	33.3	35.1	16.3	2,570	2.48
	(普通学科)	17.9	36.8	32.8	12.5	1,653	2.60
	(専門学科)	10.2	26.8	39.6	23.4	762	2.24
	(総合学科)	12.3	27.7	36.8	23.2	155	2.29
	定時制	12.0	21.3	28.7	38.0	108	2.07

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



○普通学科において、H28以降の10年は、R4以降、肯定的な回答の割合はほとんど変化がなく、約55%で推移しており、R7もその傾向が続いている。

○専門学科と総合学科において、H28以降の10年は、R6までは、肯定的な回答の割合は増加傾向であった（H28～R6にかけて、専門学科20.1ポイント増、総合学科22.9ポイント増）が、R7は減少している。

○全日制において、H28以降の10年、普通学科の肯定的な回答の割合は、専門学科、総合学科と比較して、常に10ポイント以上高い。

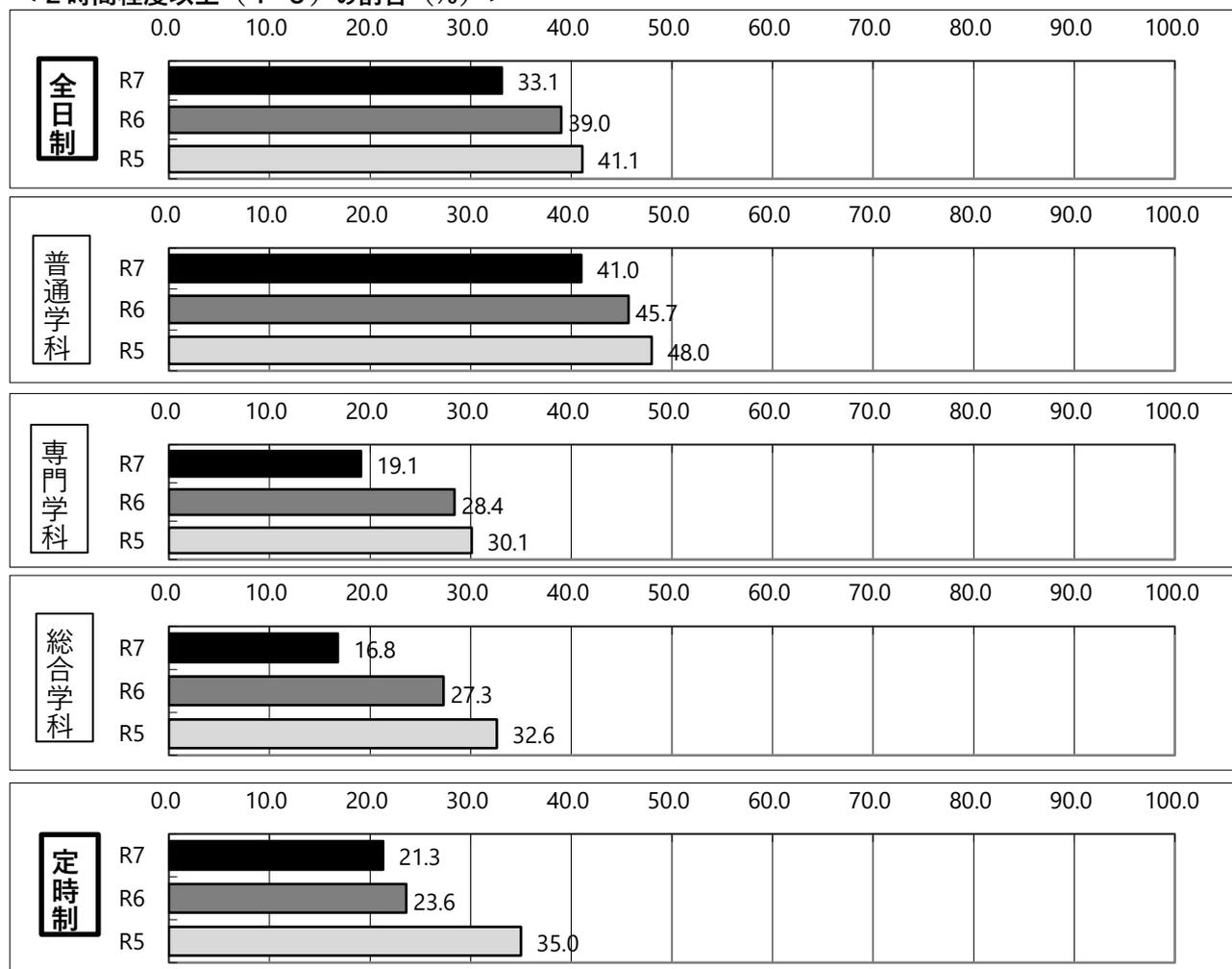
○定時制において、肯定的な回答の割合は、R6に減少し、R7はほぼ変化がなかった。

7 高校生活における進路や学習の意識

(18) 平日における1日平均の家庭学習時間

課程・学科種別 (%)		4 3時間以上	3 2時間程度	2 1時間程度	1 全くしない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	9.9	23.2	42.2	24.7	2,570	2.18
	(普通学科)	12.3	28.7	43.6	15.4	1,653	2.38
	(専門学科)	5.5	13.6	39.9	41.0	762	1.84
	(総合学科)	5.8	11.0	39.4	43.8	155	1.79
	定時制	10.2	11.1	26.9	51.8	108	1.80

< 2時間程度以上 (4・3) の割合 (%) >



※本質問項目は、R2から設定

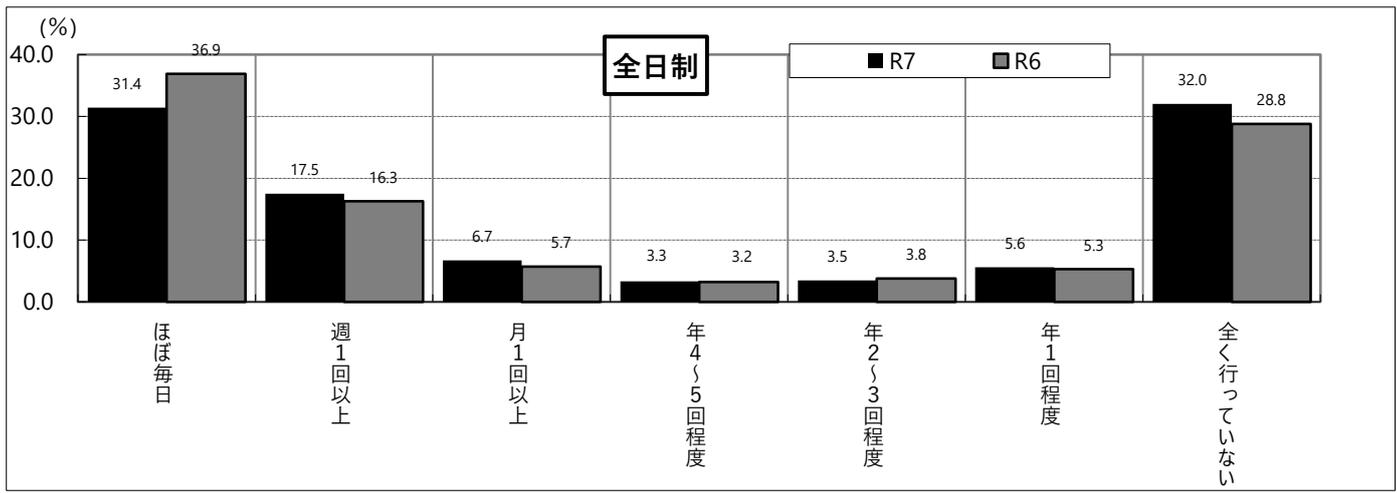
○普通学科において、R2以降、「2時間程度以上 (4または3)」の回答の割合は、減少傾向であり、R7は最低値となった (R2との比較で、10.4ポイント減)。

○専門学科、総合学科、定時制において、R2以降、「2時間程度以上 (4または3)」の回答の割合は、R5をピークに減少している。

8 過去1年間に、部活動や習い事、地域における活動（学校の授業内のみの活動は除く）で、音楽、美術、演劇、舞踊、ダンス、茶道、華道、書道、写真、映画、囲碁、将棋、かるた、漫画研究などの文化芸術活動（鑑賞のみは対象外）を、どの程度行いましたか。

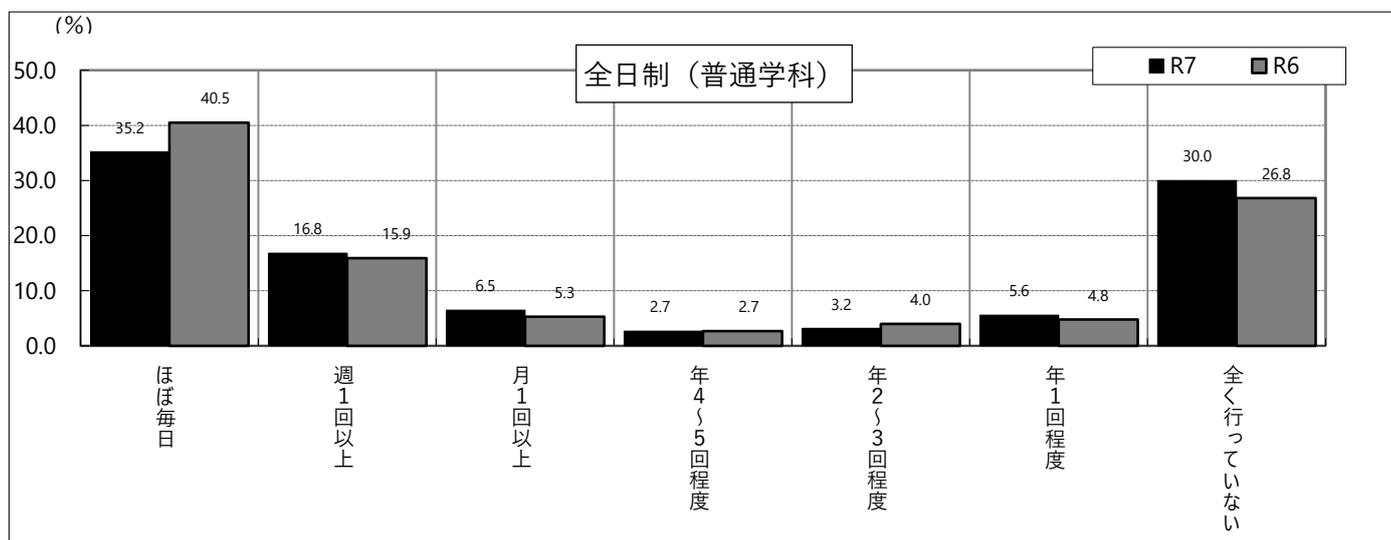
※R6年度からの調査 (%)

課程・学科種別	※R6年度からの調査 (%)								有効回答数
	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	年4～5回程度	年2～3回程度	年1回程度	全く行っていない		
R7年度	全日制	31.4	17.5	6.7	3.3	3.5	5.6	32.0	2,570
	(普通科)	35.2	16.8	6.5	2.7	3.2	5.6	30.0	1,653
	(専門科)	24.4	18.4	7.3	4.3	4.6	5.4	35.6	762
	(総合科)	25.8	20.0	5.8	5.2	1.9	7.1	34.2	155
	定時制	9.3	15.7	11.1	6.5	7.4	7.4	42.6	108



【全日制】
＜回答割合の高い項目＞

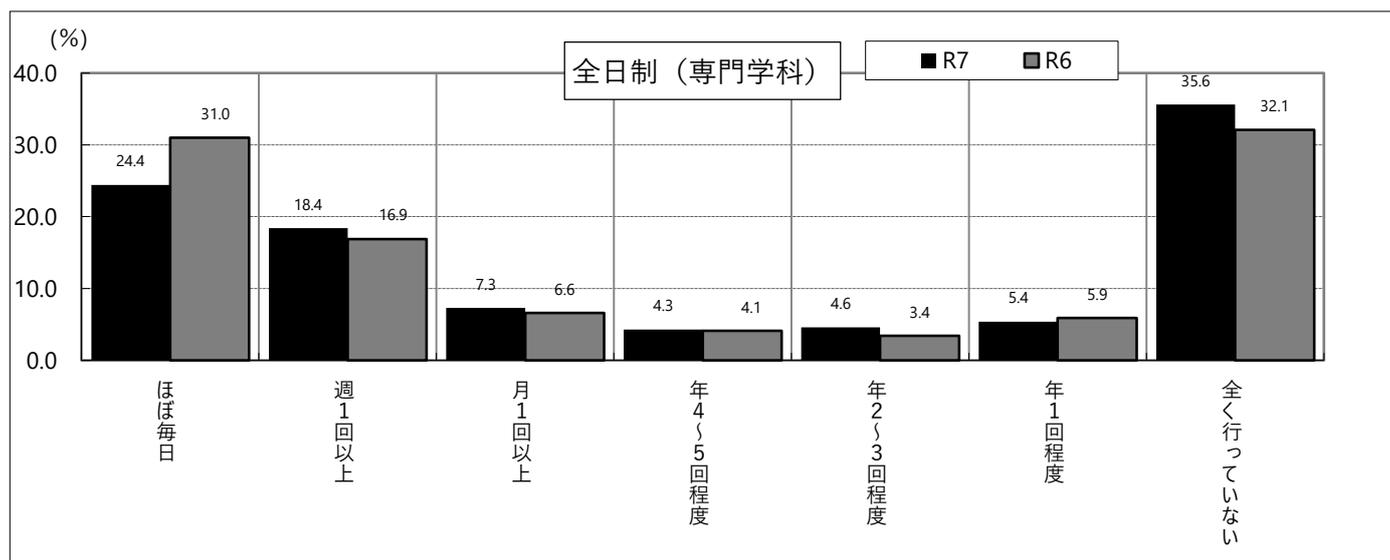
	1	2	3
令和7年度	全く行っていない(32.0)	ほぼ毎日(31.4)	週1回以上(17.5)
令和6年度	ほぼ毎日(36.9)	全く行っていない(28.8)	週1回以上(16.3)



【全日制（普通学科）】

<回答割合の高い項目>

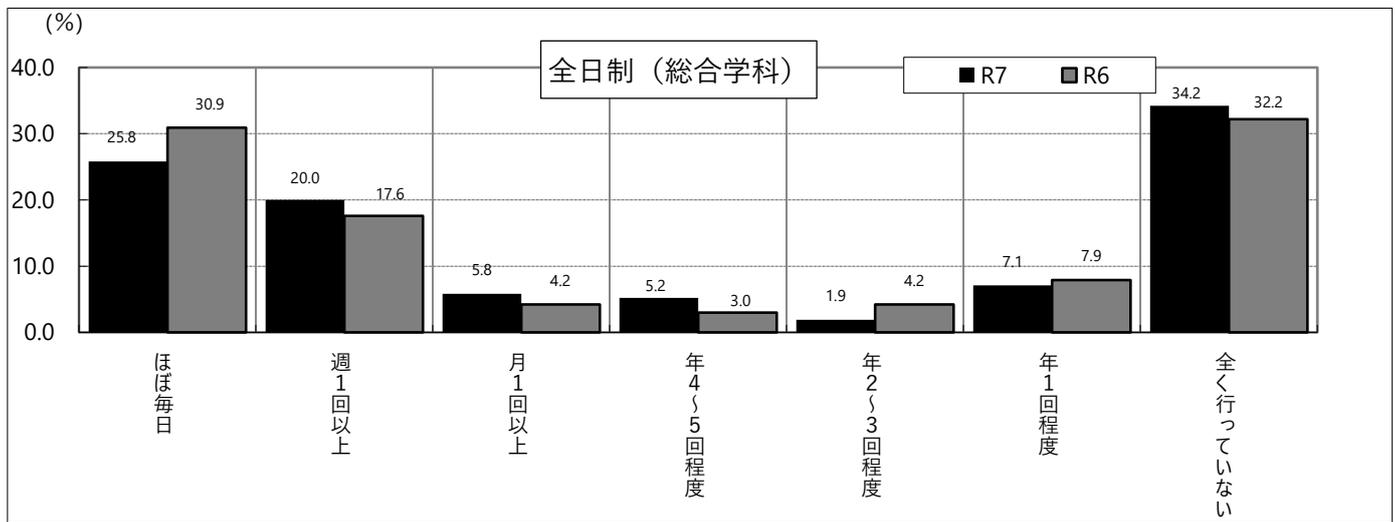
	1	2	3
令和7年度	ほぼ毎日(35.2)	全く行っていない(30.0)	週1回以上(16.8)
令和6年度	ほぼ毎日(40.5)	全く行っていない(26.8)	週1回以上(15.9)



【全日制（専門学科）】

<回答割合の高い項目>

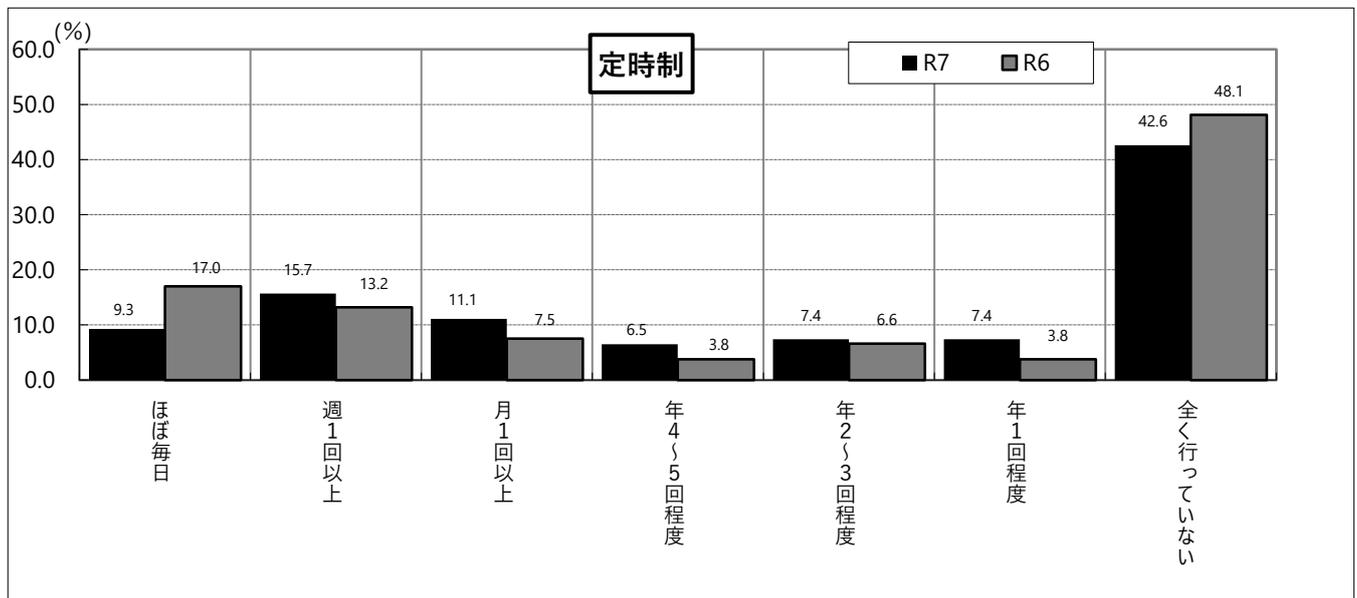
	1	2	3
令和7年度	全く行っていない(35.6)	ほぼ毎日(24.4)	週1回以上(18.4)
令和6年度	全く行っていない(32.1)	ほぼ毎日(31.0)	週1回以上(16.9)



【全日制 (総合学科)】

< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	全く行っていない(34.2)	ほぼ毎日(25.8)	週1回以上(20.0)
令和6年度	全く行っていない(33.2)	ほぼ毎日(30.9)	週1回以上(17.6)



【定時制】

< 回答割合の高い項目 >

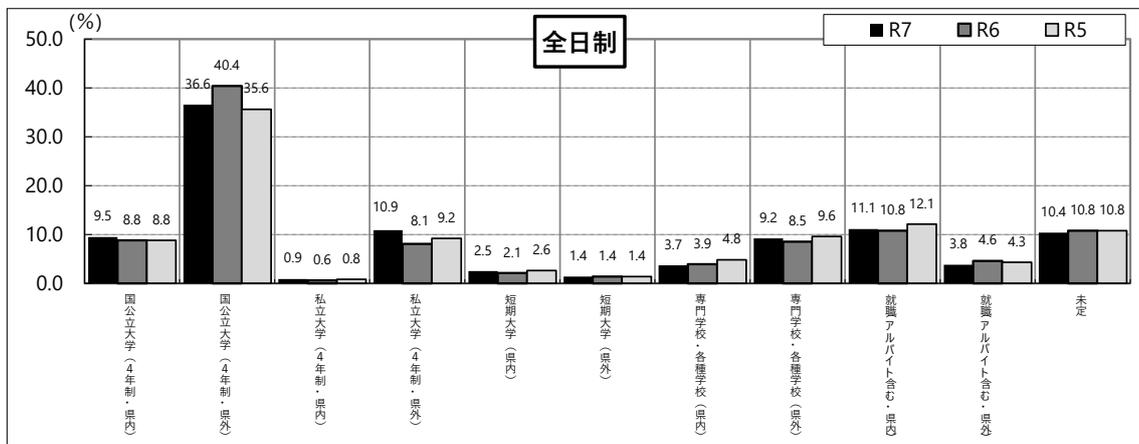
	1	2	3
令和7年度	全く行っていない(42.6)	週1回以上(15.7)	月1回以上(11.1)
令和6年度	全く行っていない(48.1)	ほぼ毎日(17.0)	週1回以上(13.2)

○全日制のすべての学科において、「ほぼ毎日」または「週1回以上」の回答と、「全く行っていない」の回答の二極化が顕著に現れている。
 ○定時制において、全日制の各学科と比較すると、「全く行っていない」の回答の割合が大きい。

9 高校卒業後の進路希望

(%)

課程・学科種別	国公立大学（4年制・県内）	国公立大学（4年制・県外）	私立大学（4年制・県内）	私立大学（4年制・県外）	短期大学（県内）	短期大学（県外）	専門学校・各種学校（県内）	専門学校・各種学校（県外）	就職（アルバイト含む・県内）	就職（アルバイト含む・県外）	未定	有効回答数
R7年度	9.5	36.6	0.9	10.9	2.5	1.4	3.7	9.2	11.1	3.8	10.4	2,570
(普通学科)	13.2	54.8	0.8	12.5	1.1	0.8	1.8	5.5	1.9	0.8	6.8	1,653
(専門学科)	2.9	3.8	1.0	7.6	4.9	2.2	7.1	15.0	28.2	10.2	17.1	762
(総合学科)	1.9	8.4	1.3	10.3	5.2	3.2	6.5	20.0	24.5	3.9	14.8	155
定時制	0.9	10.2	0.0	1.9	7.4	0.0	3.7	13.0	35.1	6.5	21.3	108



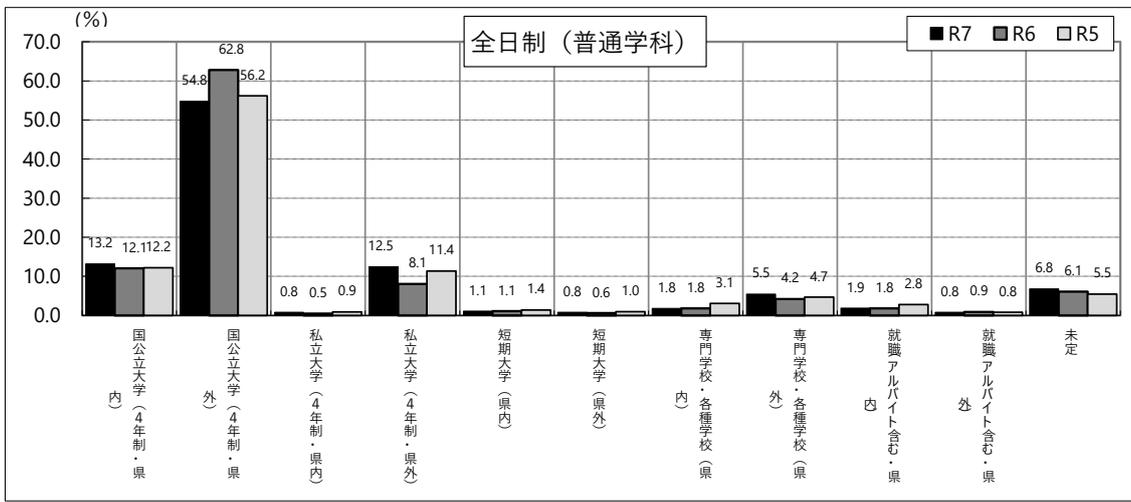
【全日制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	国公立大学（県外）(36.6)	就職（県内）(11.1)	私立大学（県外）(10.9)
令和6年度	国公立大学（県外）(40.4)	就職（県内）(10.8)	未定(10.8)
令和5年度	国公立大学（県外）(35.6)	就職（県内）(12.1)	未定(10.8)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】私立大学（県外）(+2.8) 【減少】国公立大学（県外）(-3.8)



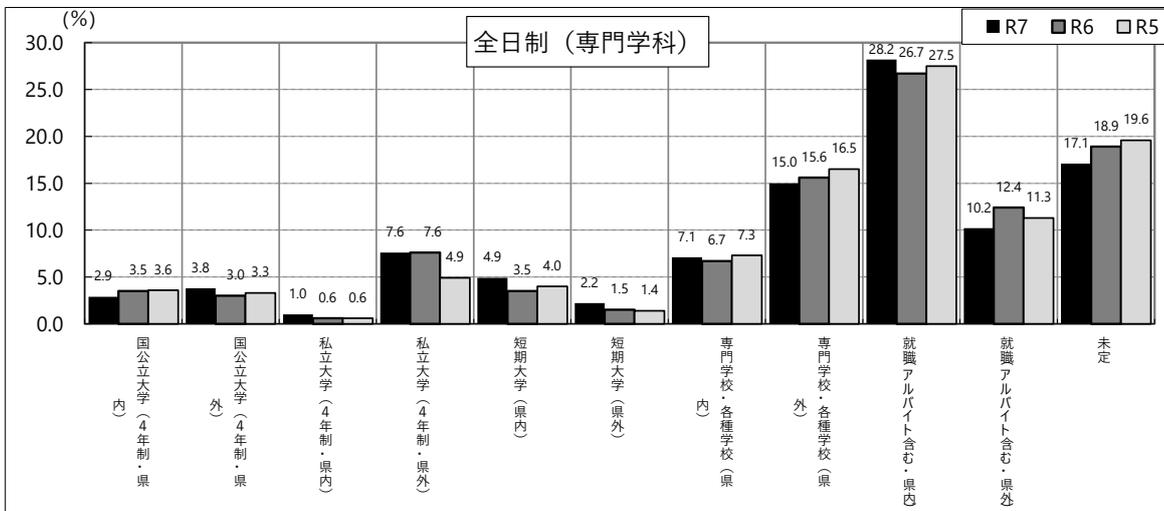
【全日制（普通学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	国公立大学（県外）(54.8)	国公立大学（県内）(13.2)	私立大学（県外）(12.5)
令和6年度	国公立大学（県外）(62.8)	国公立大学（県内）(12.1)	私立大学（県外）(8.1)
令和5年度	国公立大学（県外）(56.2)	国公立大学（県内）(12.2)	短期大学（県外）(11.4)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】私立大学（県外）(+4.4) 【減少】国公立大学（県外）(-8.0)



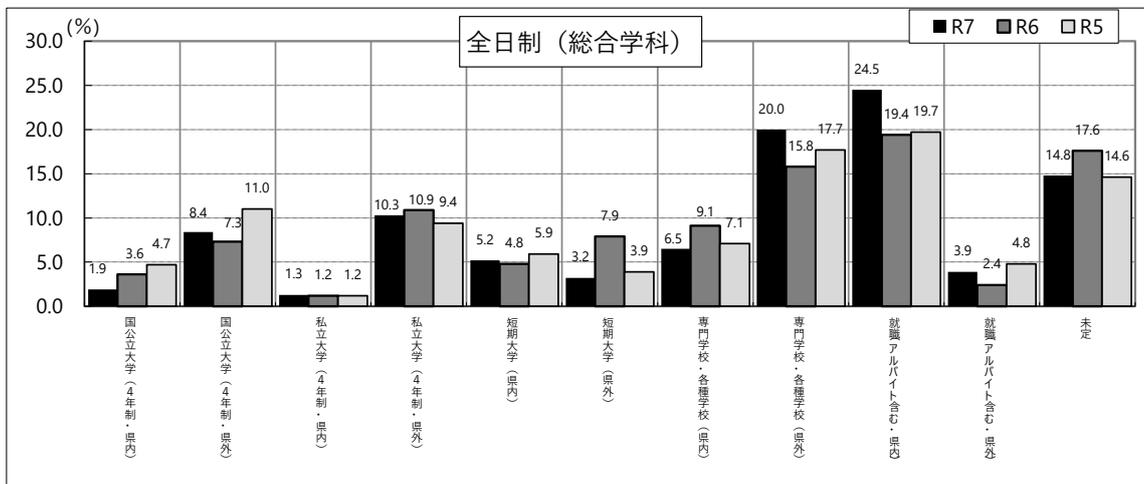
【全日制（専門学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	就職（県内）(28.2)	未定(17.1)	専門学校等（県外）(15.0)
令和6年度	就職（県内）(26.7)	未定(18.9)	専門学校等（県外）(15.6)
令和5年度	就職（県内）(27.5)	未定(19.6)	専門学校等（県外）(16.5)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く）>

【増加】就職（県内）(+1.5) 【減少】就職（県外）(-2.2)



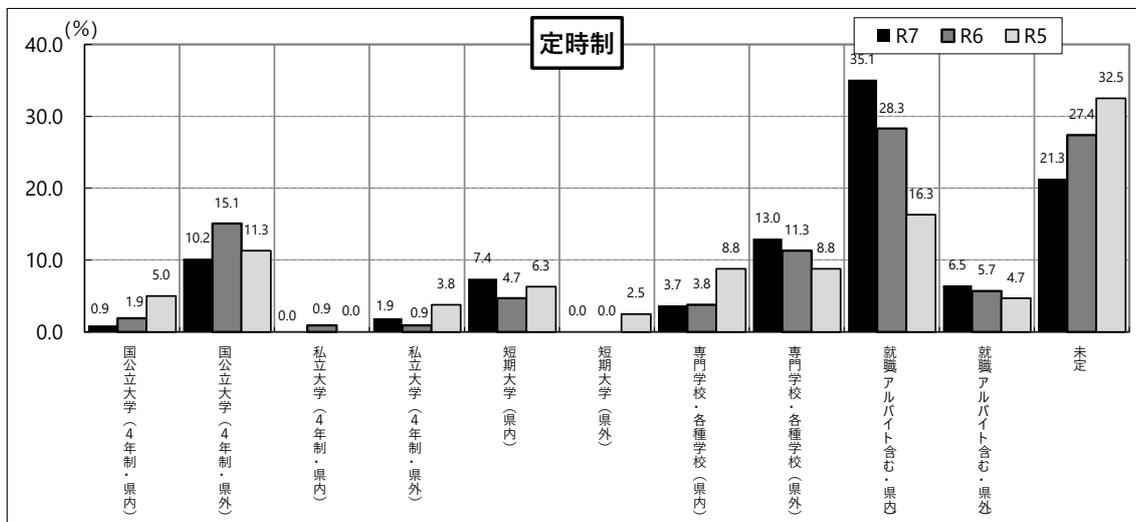
【全日制 (総合学科)】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	就職 (県内) (24.5)	専門学校等 (県外) (20.0)	未定(14.8)
令和6年度	就職 (県内) (19.4)	未定(17.6)	専門学校等 (県外) (15.8)
令和5年度	就職 (県内) (19.7)	専門学校等 (県外) (17.7)	未定(14.6)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目 (「その他」除く)>

【増加】就職 (県内) (+5.1) 【減少】短期大学 (県外) (-4.7)



【定時制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	就職 (県内) (35.2)	未定(21.3)	専門学校等 (県外) (13.0)
令和6年度	就職 (県内) (28.3)	未定(27.4)	国公立大学 (県外) (15.1)
令和5年度	未定(32.5)	就職 (県内) (16.3)	国公立大学 (県外) (11.3)

<前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目 (「その他」除く)>

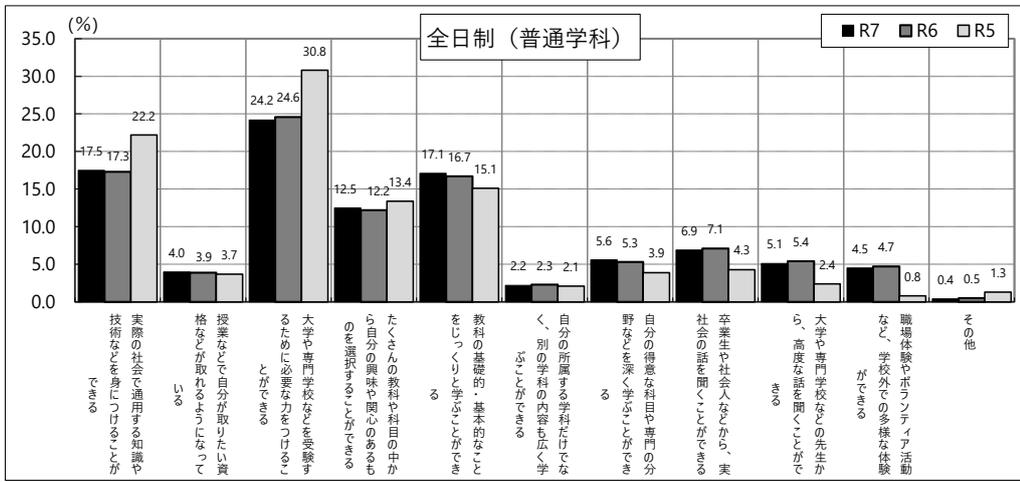
【増加】就職 (県内) (+6.9) 【減少】未定(-6.1)

○普通学科において、4年制大学の進学希望者の割合は、R3以降ほとんど変化がなく、約80%を継続しており、R7もその傾向が続いており、H28以降の10年では、5.2ポイントの増加となっている。一方、就職希望者の割合は、H28以降の10年、約2~6%の間を推移している。

○専門学科において、H28以降の10年は、R2までは、就職希望者の割合が進学希望者の割合よりも高かったが、R3以降、両者の関係が逆転し、R7もその関係が続いている (R7の就職希望者は38.4%、進学希望者は44.5%)。また、H28以降の10年、4年制大学の進学希望者数の割合は増加傾向であり、R7もその傾向が続いている (R7の4年制大学の進学希望者は15.3%であり、H28との比較で6.1ポイント増)。

○総合学科において、R7の就職希望者の割合は増加したが、H28以降の10年では、8.6ポイント減少している (R7の就職希望者は28.4%)。一方、進学希望者の割合は、R7で減少したが、H28以降の10年では、6.8ポイント増加している (R7の進学希望者は56.8%)。また、4年制大学の進学希望者の割合は、この2年で減少したが、H28以降の10年では、11.6ポイント増加している (R7の4年制大学の進学希望者は21.9%)。

○定時制において、R7の進学希望者の割合は減少したが、H28以降の10年では、6.2ポイント増加している (R7の進学希望者は37.1%)。また、この2年で4年制大学の進学希望者の割合は減少したが、H28以降の10年では、10.5ポイント増加している (R7の4年制大学の進学希望者は13.0%)。



【全日制（普通学科）】

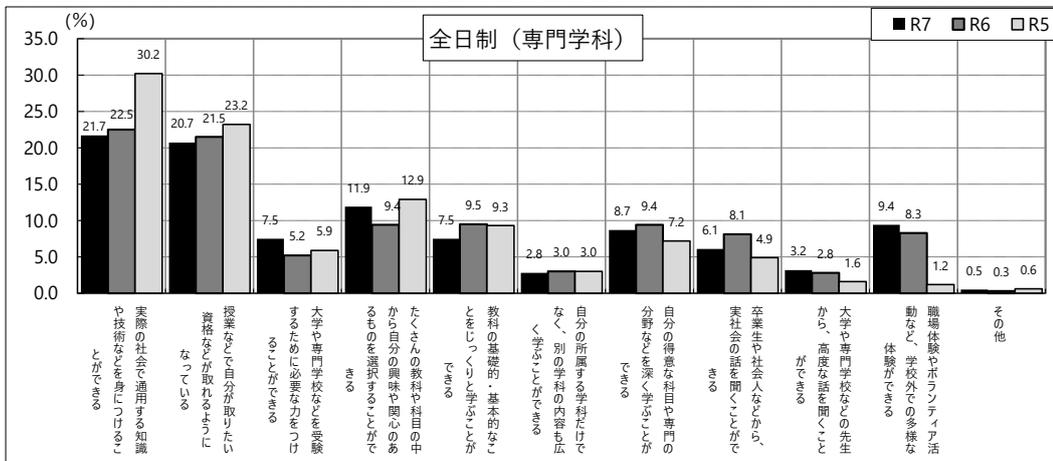
< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得(24.2)	実際の社会で通用する知識や技術習得(17.5)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(17.1)
令和6年度	大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得(24.6)	実際の社会で通用する知識や技術習得(17.3)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(16.7)
令和5年度	大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得(30.8)	実際の社会で通用する知識や技術習得(22.2)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(15.1)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く） >

【増加】教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(+0.4)

【減少】大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得(-0.4)



【全日制（専門学科）】

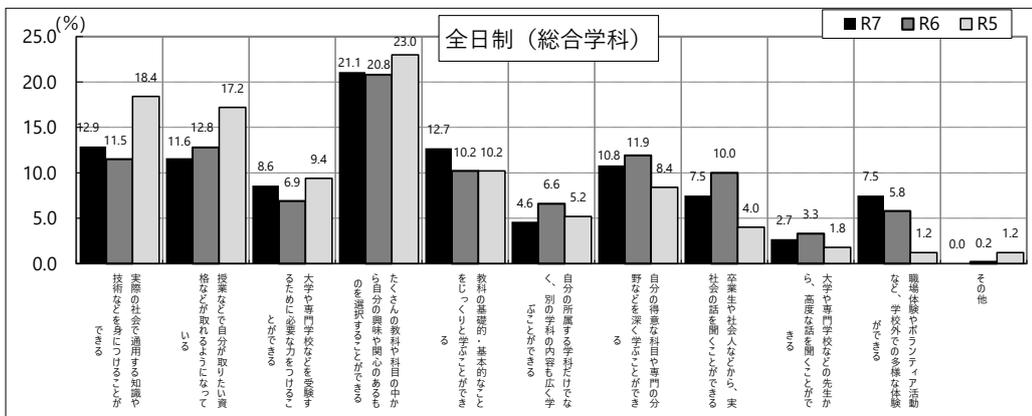
< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	実際の社会で通用する知識や技術習得(21.7)	資格取得(20.7)	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(11.9)
令和6年度	実際の社会で通用する知識や技術習得(22.5)	資格取得(21.5)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(9.5)
令和5年度	実際の社会で通用する知識や技術習得(30.2)	資格取得(23.2)	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(12.9)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く） >

【増加】自分の興味や関心のある教科や科目を選択(+2.5)

【減少】教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(-2.0) 卒業生や社会人などから実社会の話聞く(-2.0)



【全日制（総合学科）】

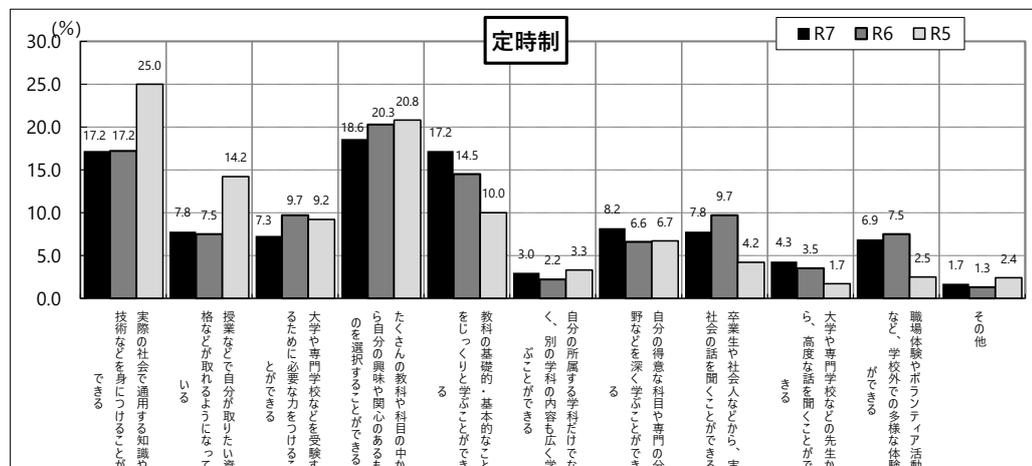
< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(21.1)	実際の社会で通用する知識や技術習得(12.9)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(12.7)
令和6年度	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(20.8)	資格取得(12.8)	自分の得意な科目や分野を深く学ぶ(11.9)
令和5年度	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(23.0)	実際の社会で通用する知識や技術習得(18.4)	資格取得(17.2)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く） >

【増加】教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(+2.5)

【減少】卒業生や社会人などから実社会の話聞く(-2.5)



【定時制】

< 回答割合の高い項目 >

	1	2	3
令和7年度	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(18.6)	実際の社会で通用する知識や技術習得(17.2) 教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(17.2)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(14.5)
令和6年度	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(20.3)	実際の社会で通用する知識や技術習得(17.2)	教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(14.5)
令和5年度	実際の社会で通用する知識や技術習得(25.0)	自分の興味や関心のある教科や科目を選択(20.8)	資格取得(14.2)

< 前回調査から回答割合の増減が最も大きい項目（「その他」除く） >

【増加】教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習(+2.7)

【減少】大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得(-2.4)

○普通学科において、H28以降の10年、「大学や専門学校などの受験に向けた必要な力の習得」の回答の割合が最も高い状況が継続している。また、R5に「実際の社会で通用する知識や技術習得」の回答の割合が、「教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習」の回答の割合を逆転し、R7も継続している。

○専門学科において、H28以降の10年、「実際の社会で通用する知識や技術習得」と「資格取得」の回答の割合が、ほぼ同程度の値で、かつ、最も高いという傾向が継続している。

○総合学科において、H28以降の10年、「自分の興味や関心のある教科や科目を選択」の回答の割合が最も高い状況が継続している。

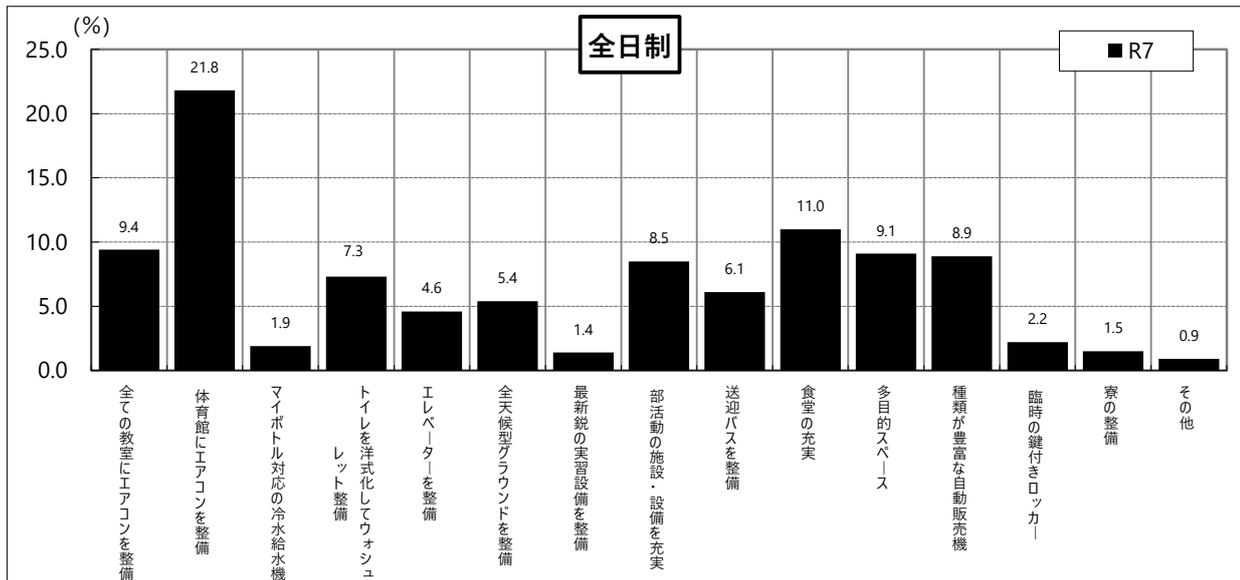
○定時制において、この2年は、「教科の基礎的・基本的なことをじっくりと学習」の回答の割合が増加した。

1 1 今後、本県の高校の魅力化を図るために必要と思われる施設・設備（複数回答可 3つまで）

※令和7年度からの調査

(%)

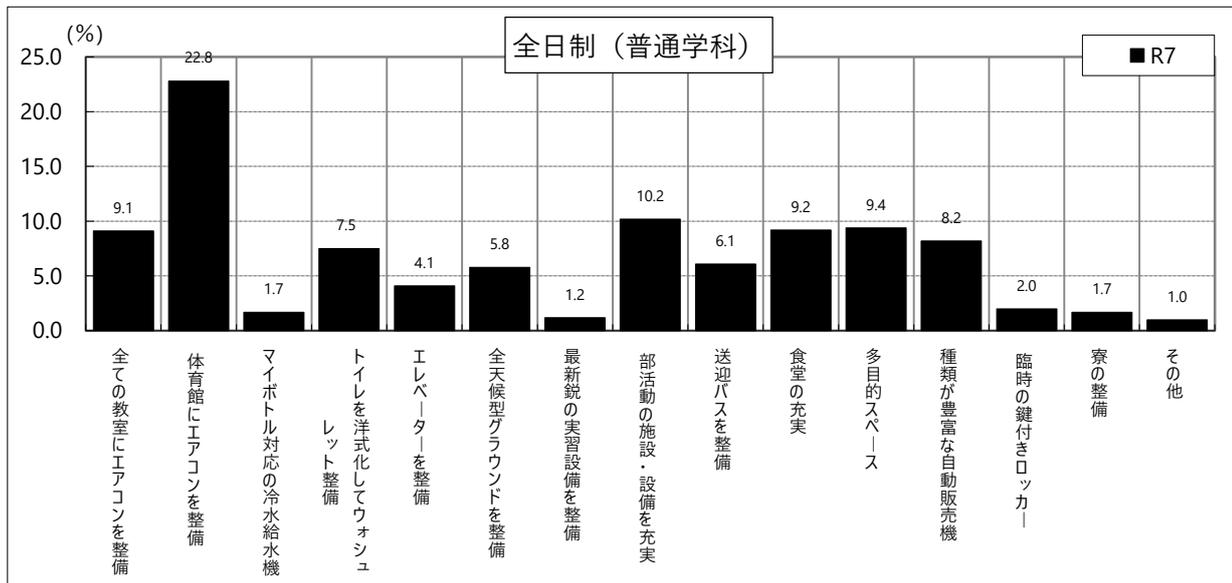
課程・学科種別	全ての教室にエアコンを整備	体育館にエアコンを整備	マイボトル対応の冷水給水機	トイレを洋式化してウォシュレット整備	エレベーターを整備	全天候型グラウンドを整備	最新鋭の実習設備を整備	部活動の施設・設備を充実	送迎バスを整備	食堂の充実	多目的スペース	種類が豊富な自動販売機	臨時の鍵付きロッカー	寮の整備	その他
全日制	9.4	21.8	1.9	7.3	4.6	5.4	1.4	8.5	6.1	11.0	9.1	8.9	2.2	1.5	0.9
(普通学科)	9.1	22.8	1.7	7.5	4.1	5.8	1.2	10.2	6.1	9.2	9.4	8.2	2.0	1.7	1.0
(専門学科)	9.8	20.1	2.2	6.6	5.2	4.6	1.6	5.5	5.4	15.0	9.0	10.1	2.9	1.3	0.7
(総合学科)	11.0	18.3	2.8	8.7	7.4	4.1	1.8	6.2	8.7	10.3	6.9	11.0	1.0	1.0	0.8
定時制	11.2	25.4	3.4	6.7	7.5	3.7	1.1	1.9	10.8	8.6	7.5	7.8	3.7	0.7	0.0



【全日制】

<回答割合の高い項目>

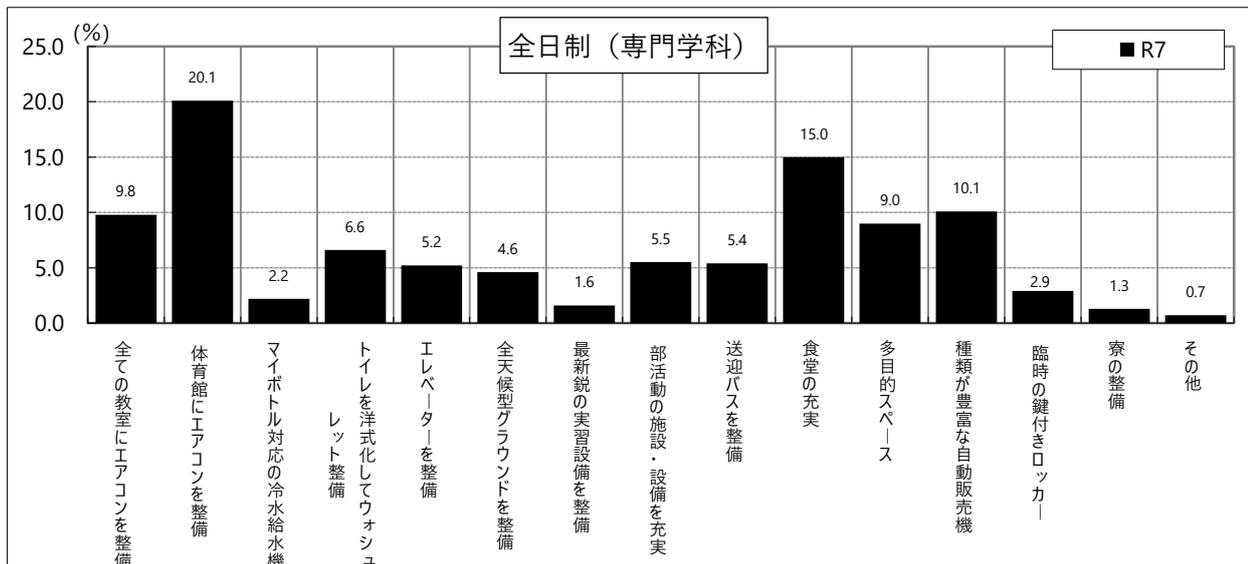
	1	2	3
令和7年度	体育館にエアコン整備(21.8)	食堂の充実(11.0)	全教室にエアコン整備(9.4)



【全日制（普通学科）】

<回答割合の高い項目>

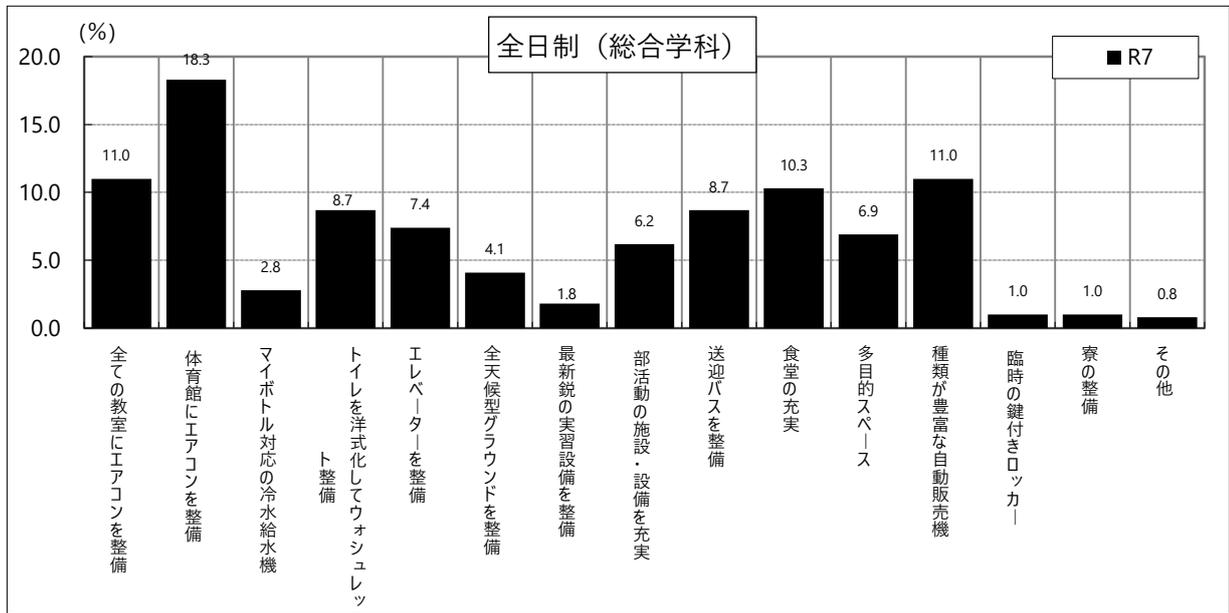
	1	2	3
令和7年度	体育館にエアコン整備(22.8)	部活動施設等を充実(10.2)	多目的スペース(9.4)



【全日制（専門学科）】

<回答割合の高い項目>

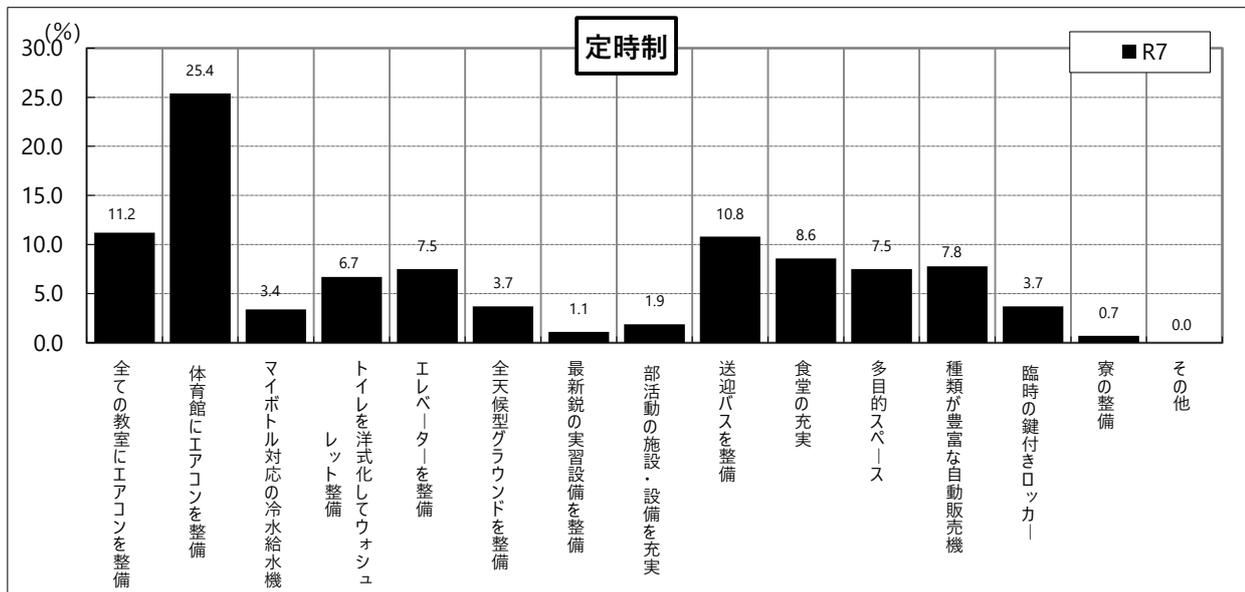
	1	2	3
令和7年度	体育館にエアコン整備(20.1)	食堂の充実(15.0)	種類豊富な自動販売機(10.1)



【全日制（総合学科）】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	体育館にエアコン整備(18.3)	全教室にエアコン整備(11.0)	種類豊富な自動販売機(11.0)



【定時制】

<回答割合の高い項目>

	1	2	3
令和7年度	体育館にエアコン整備(25.4)	全教室にエアコン整備(11.2)	送迎バスを整備(10.8)

○すべての課程、学科において、「体育館にエアコンを整備」と回答する割合が突出して高く、「全ての教室にエアコンを整備」と回答する割合も10%程度で共通している。また、「食堂の充実」、「種類豊富な自動販売機」と回答する割合も共通して高い。

○総合学科と定時制において、「送迎バスを整備」と回答する割合が高い。